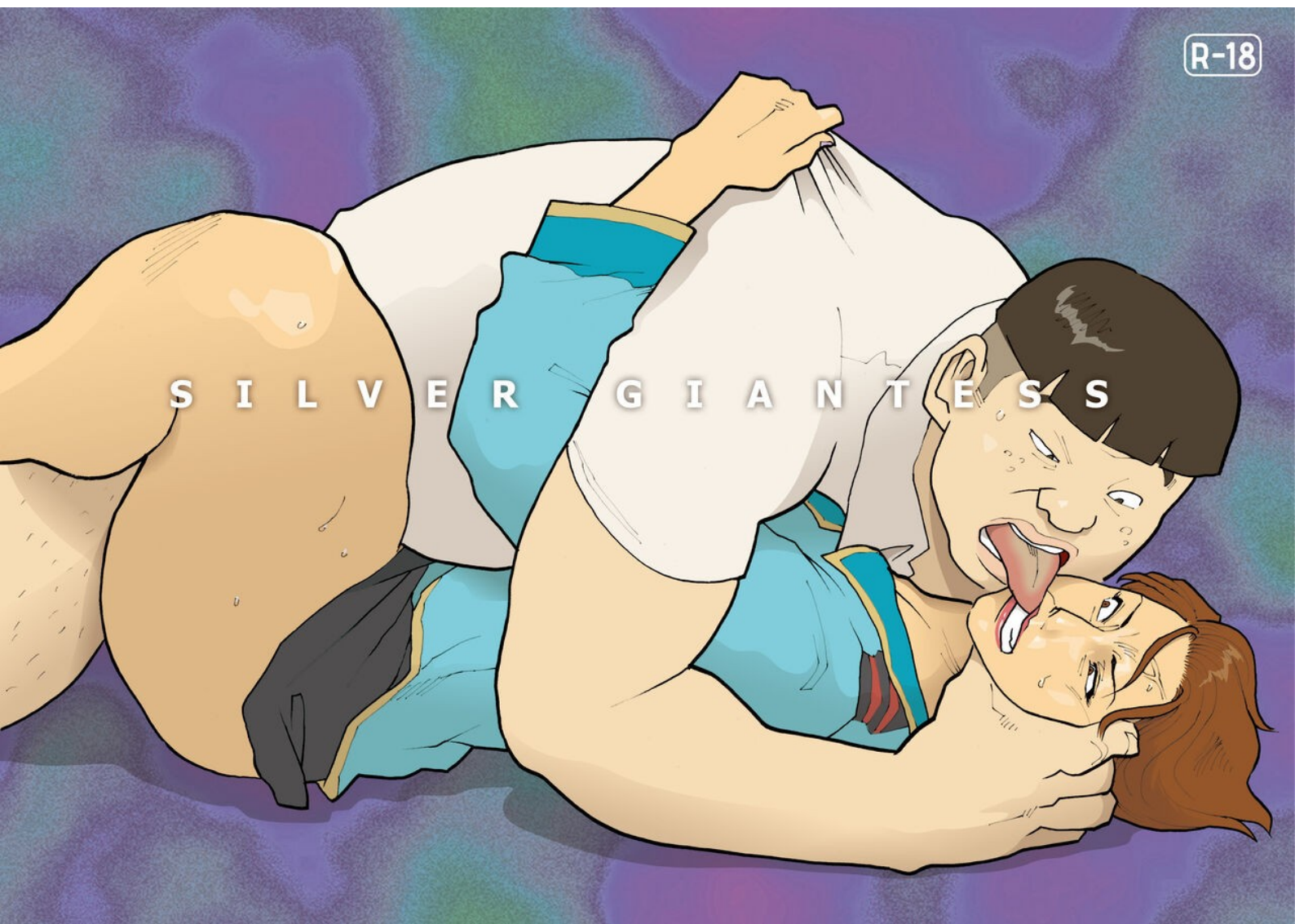


R-18

S I L V E R G I A N T E S S

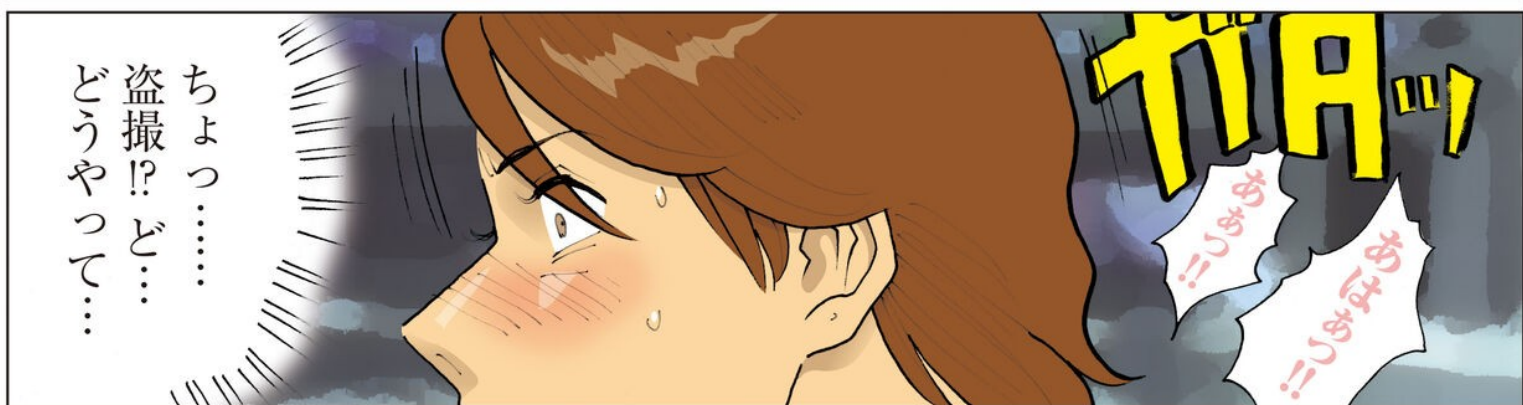
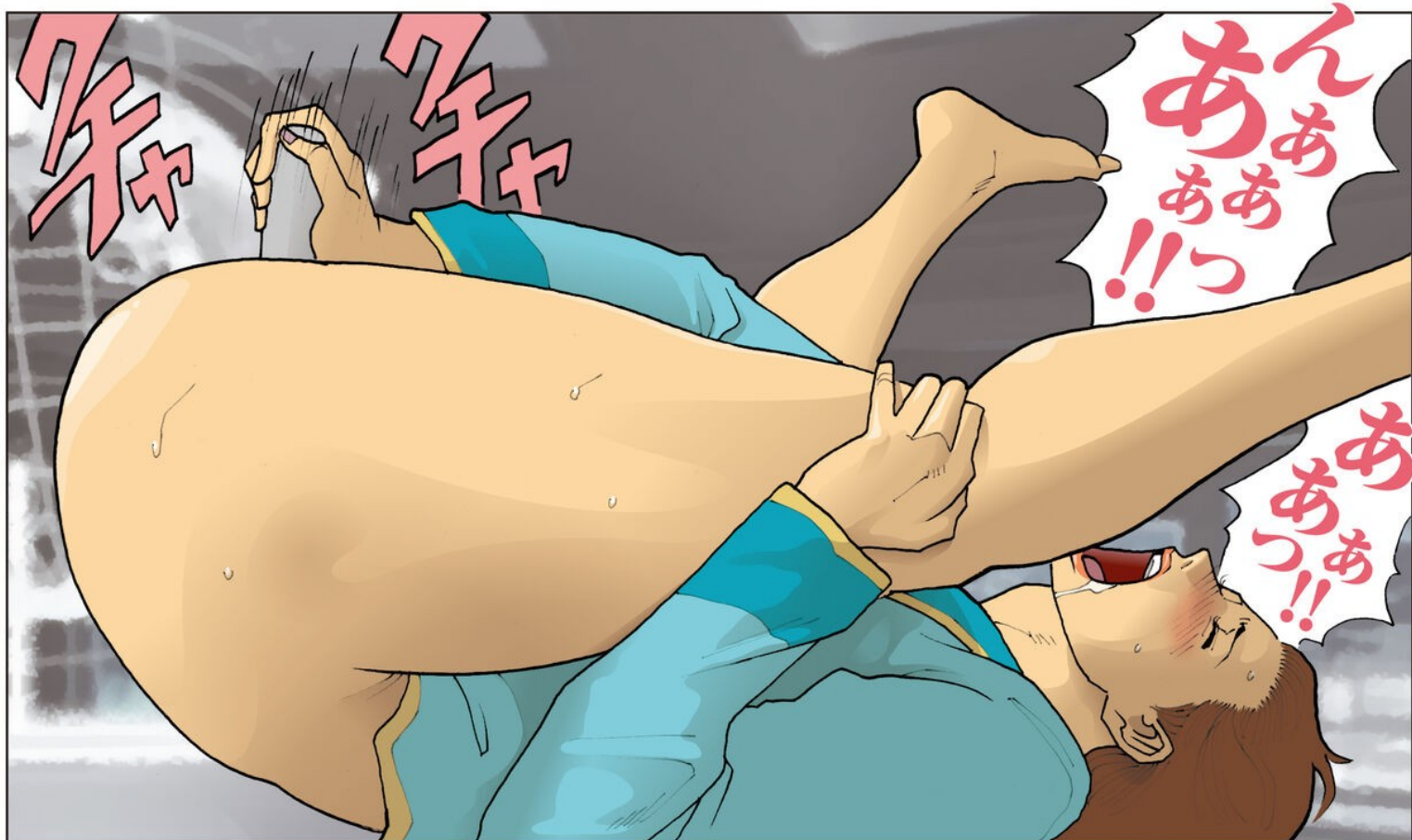


一体何の用なの？
今日は残業も無いし、
早く帰りたいんだけど。

ホント相変わらず
取り澄ました様な感じが
上手いおばさんだなあ。

さつきまで
こんな事してた
クセに……。

アア
アア



け…消しなさい!!
これはプライバシー
の侵害よ! 犯罪だわ!!

いやあ:変身アイテムを
代用するくらい盛ってる
年増がどの口で言っ
てんのかな?

こっちはおばさんが
寂しいと思って、
うってつけの相手を
呼んであげたのに:。

バ
ン
ッ



紹介するよ。
僕のお兄ちゃん。
こんな図体だけど
年はそんなに離れて
ないんだよ。

いつの間に
室内に……



兄ちゃん、
このおばさんが
例の巨人に変身する
前の人間体だよ。

ぐふっ



だったらガッカリ
だよな。
おで、あの巨人好み
だったのに……

なっ…

コイツもうアソコが
プンプン臭うぞ。
ヤラレたくて堪らないん
じゃんか。

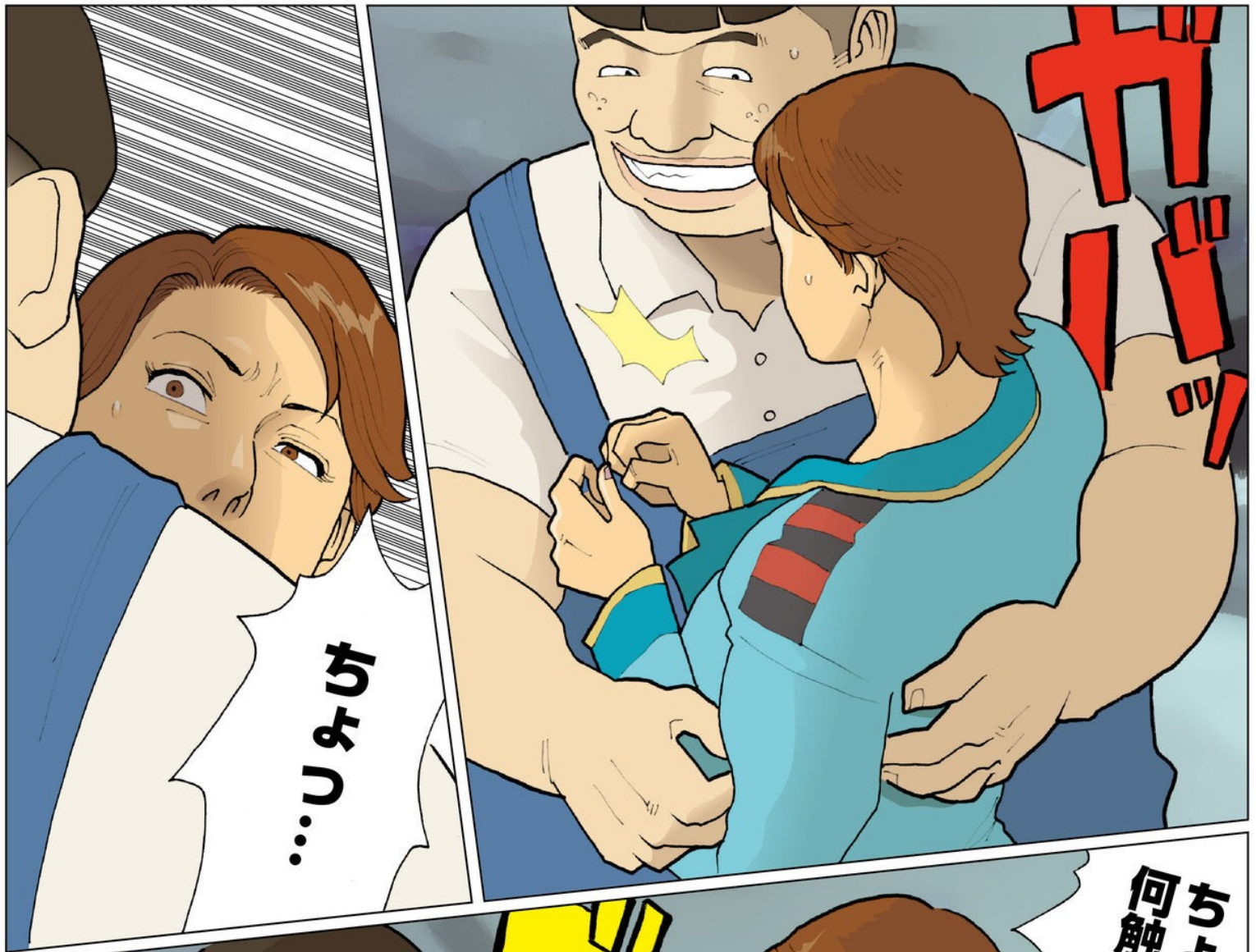


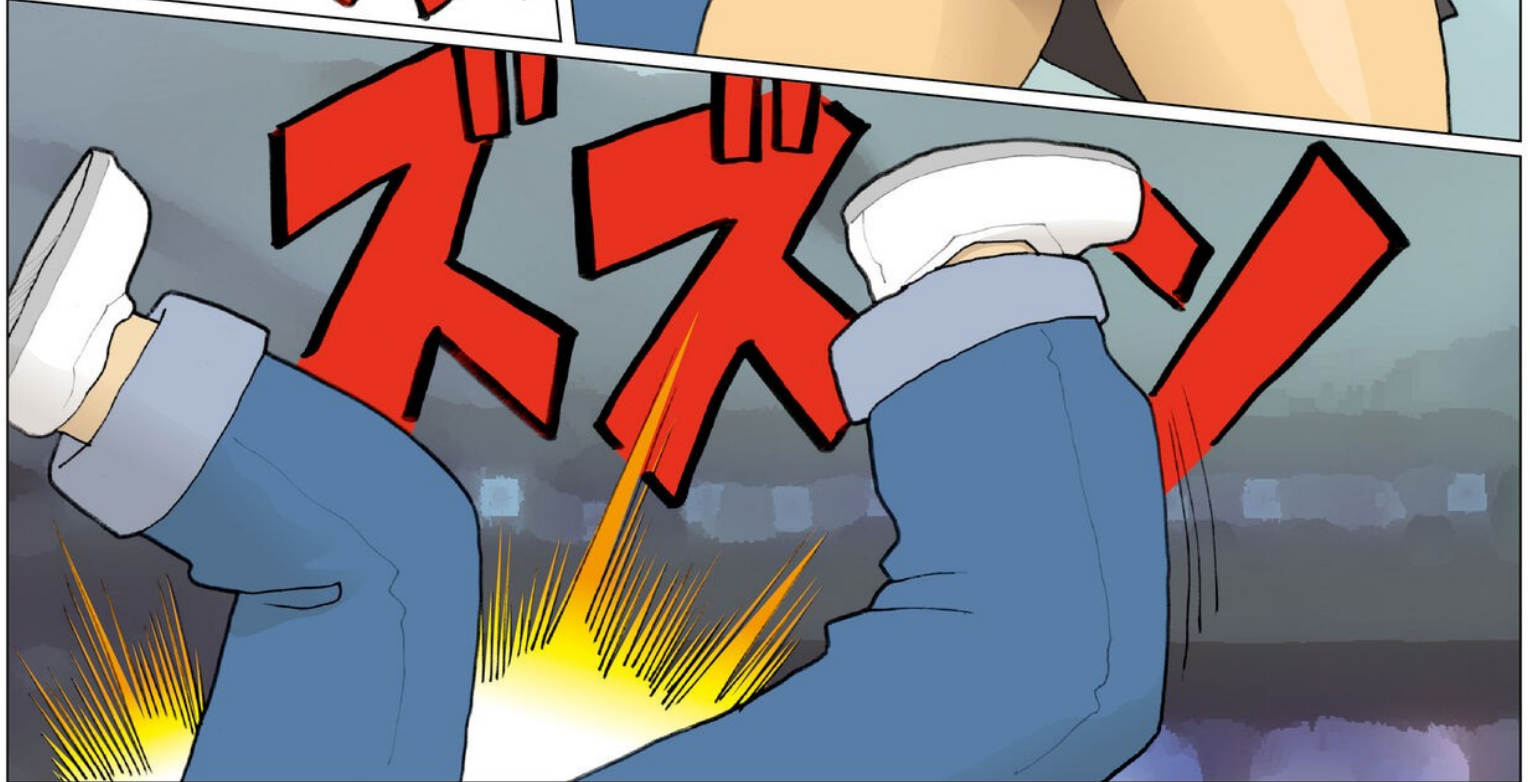
でもお前は
ガッカリしなくて
いいんだぞ。

アンタ何
言ってるの？



おで、熟女
大好きだから。







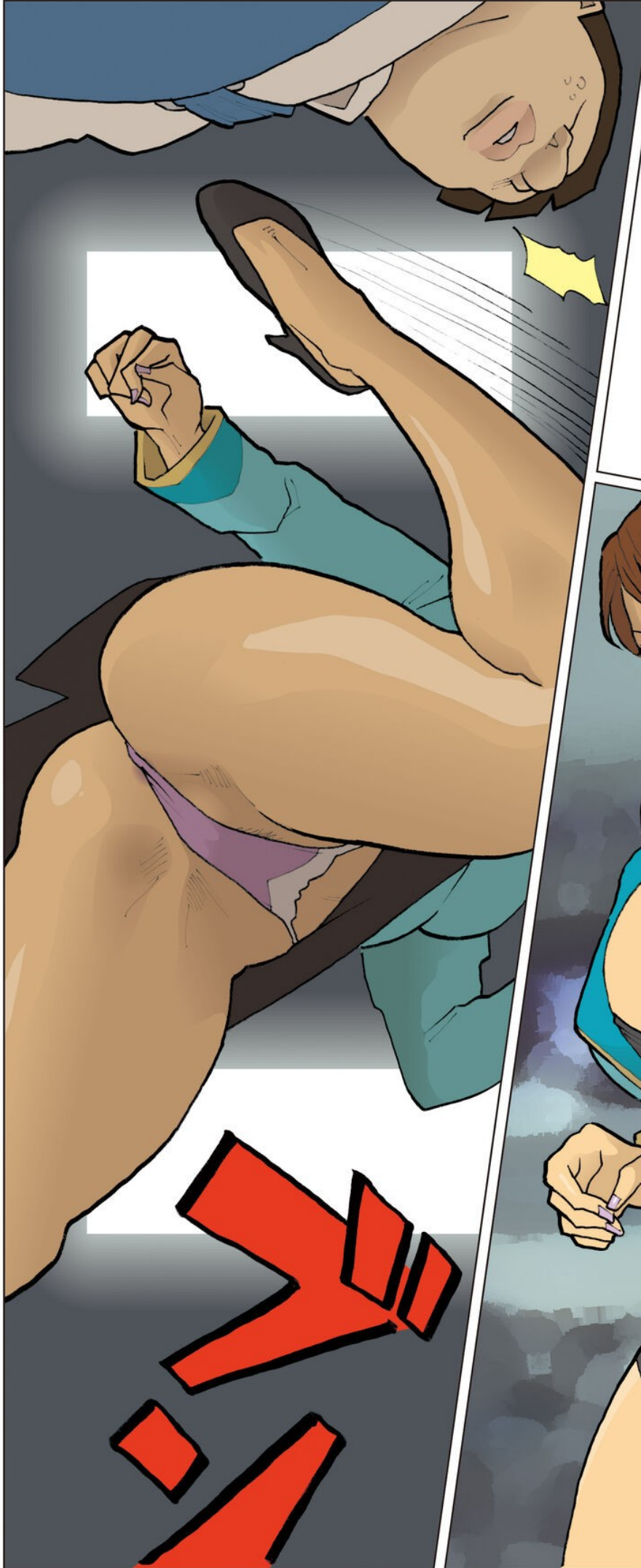
ほらやっぱり
少し染みてんぞ。



取り敢えず
ちよっと触ら
せてくれよ。

やめろって
言ってるのよ!!

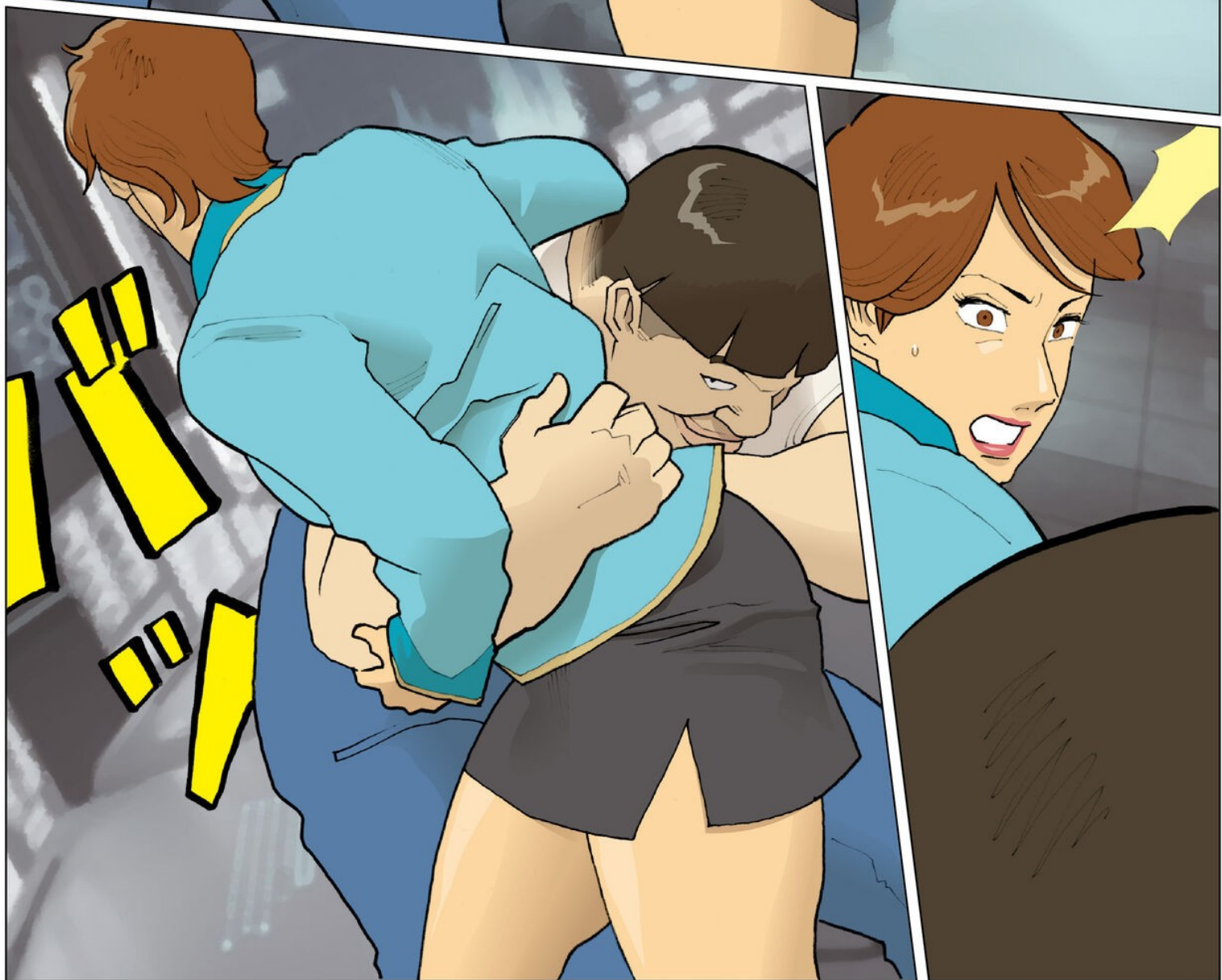
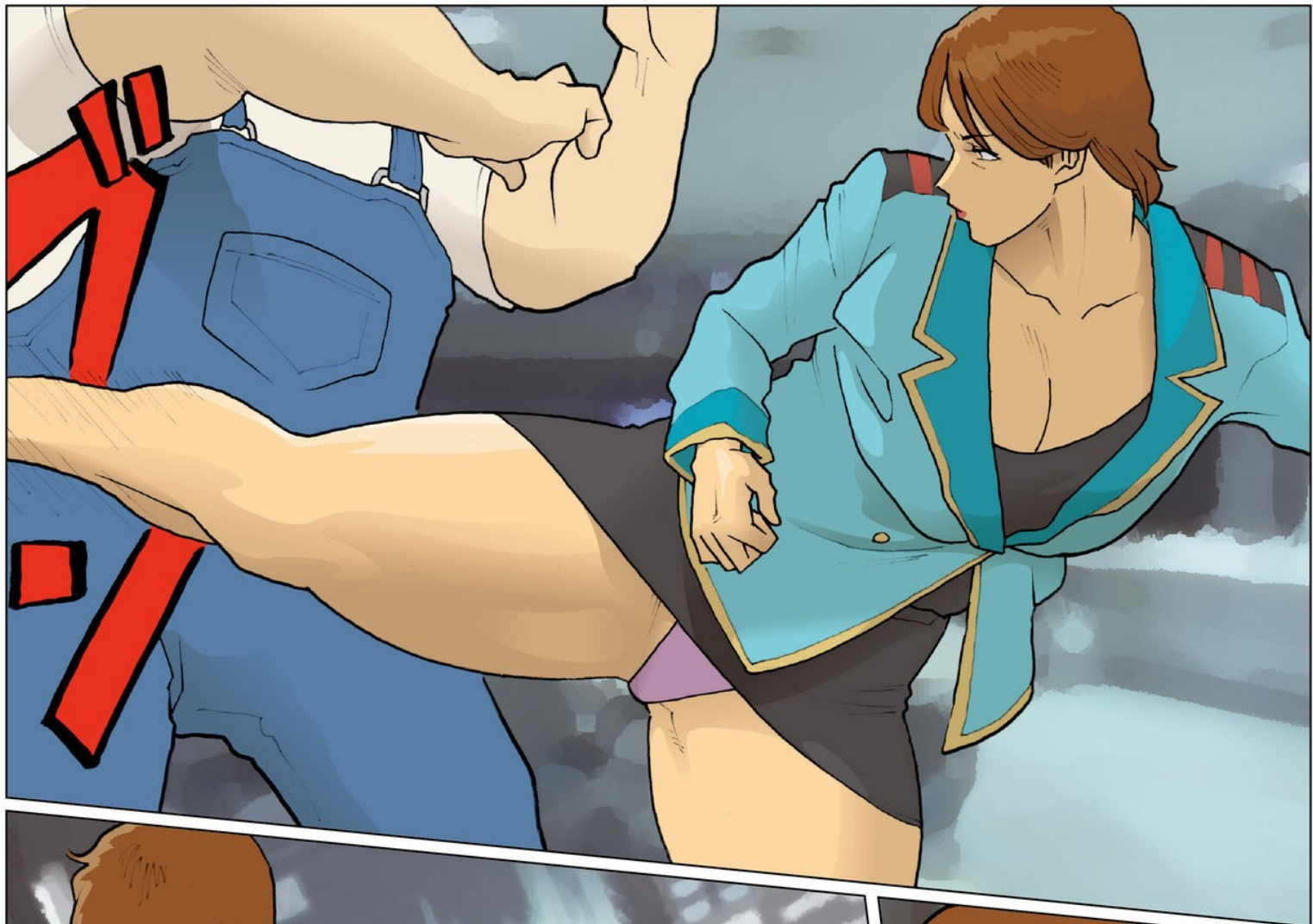


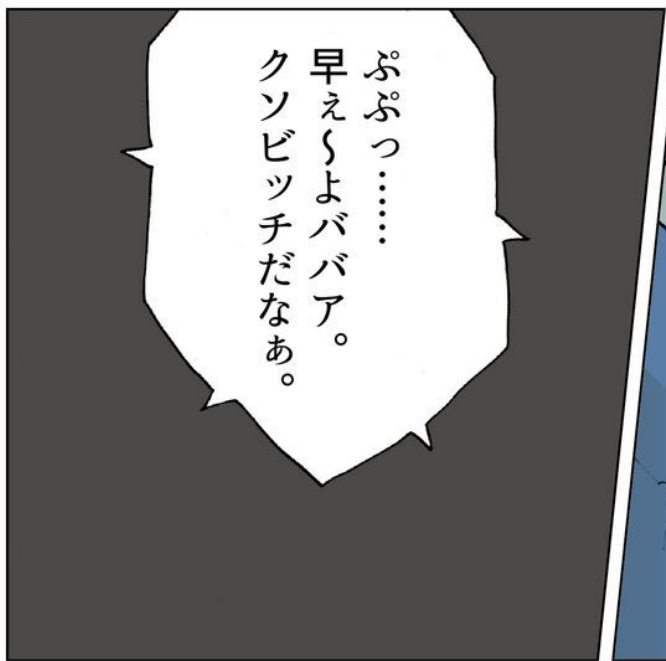
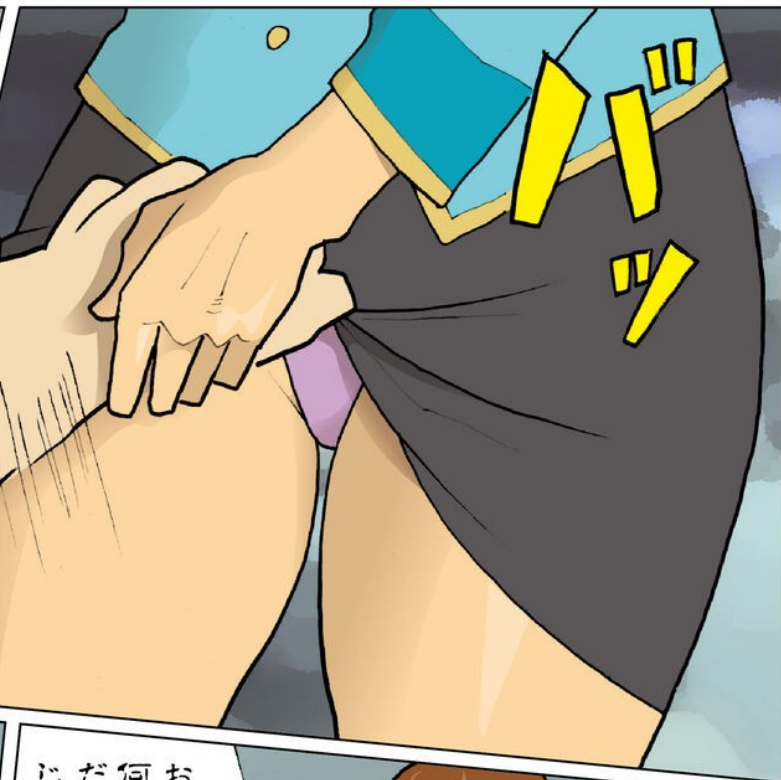


いい蹴りだな。
もうこれ体のふれ合いが
始まってるんだな。



このコ……
さっき投げた時も
そうだけど、
何て頑丈な体
してんの。



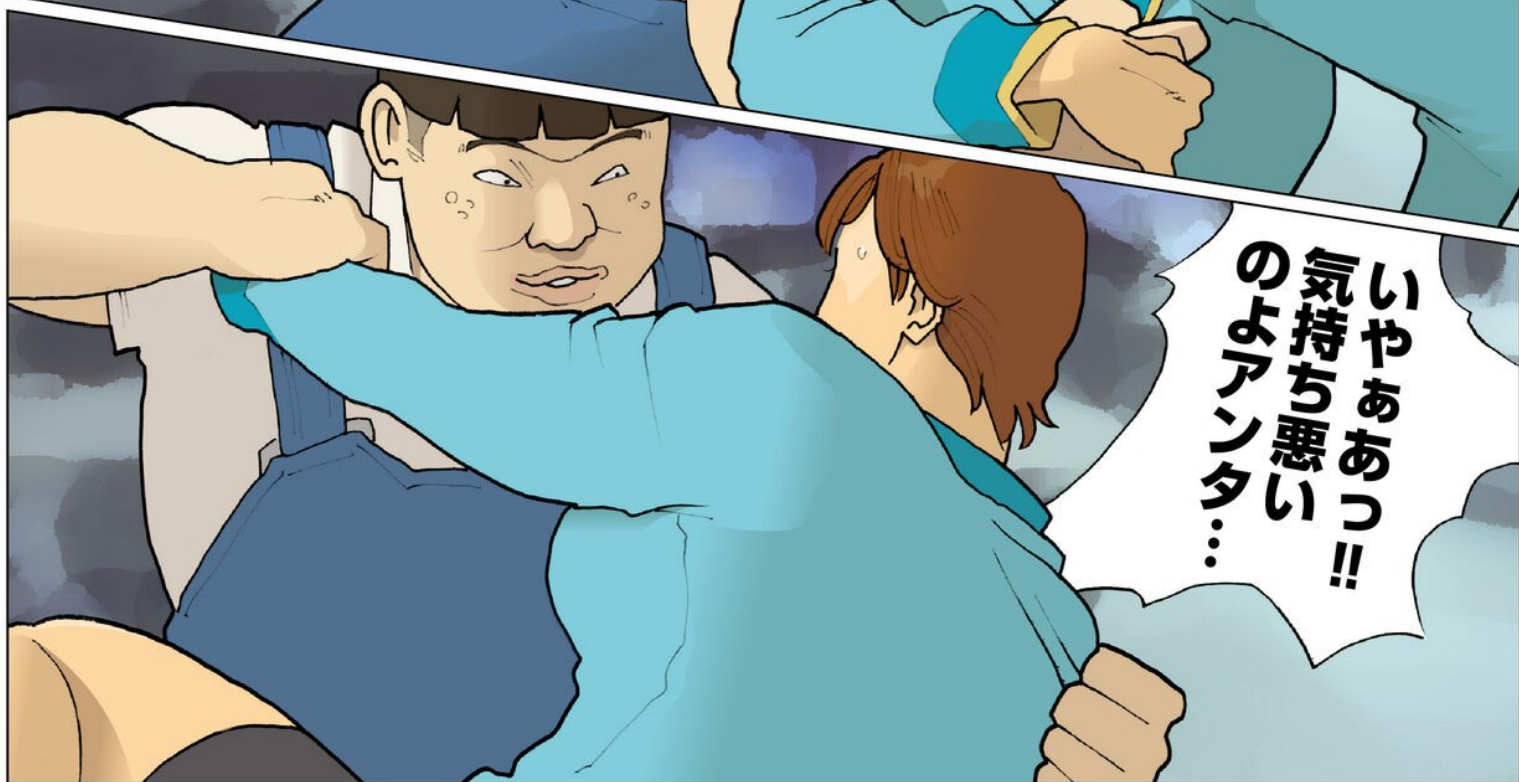


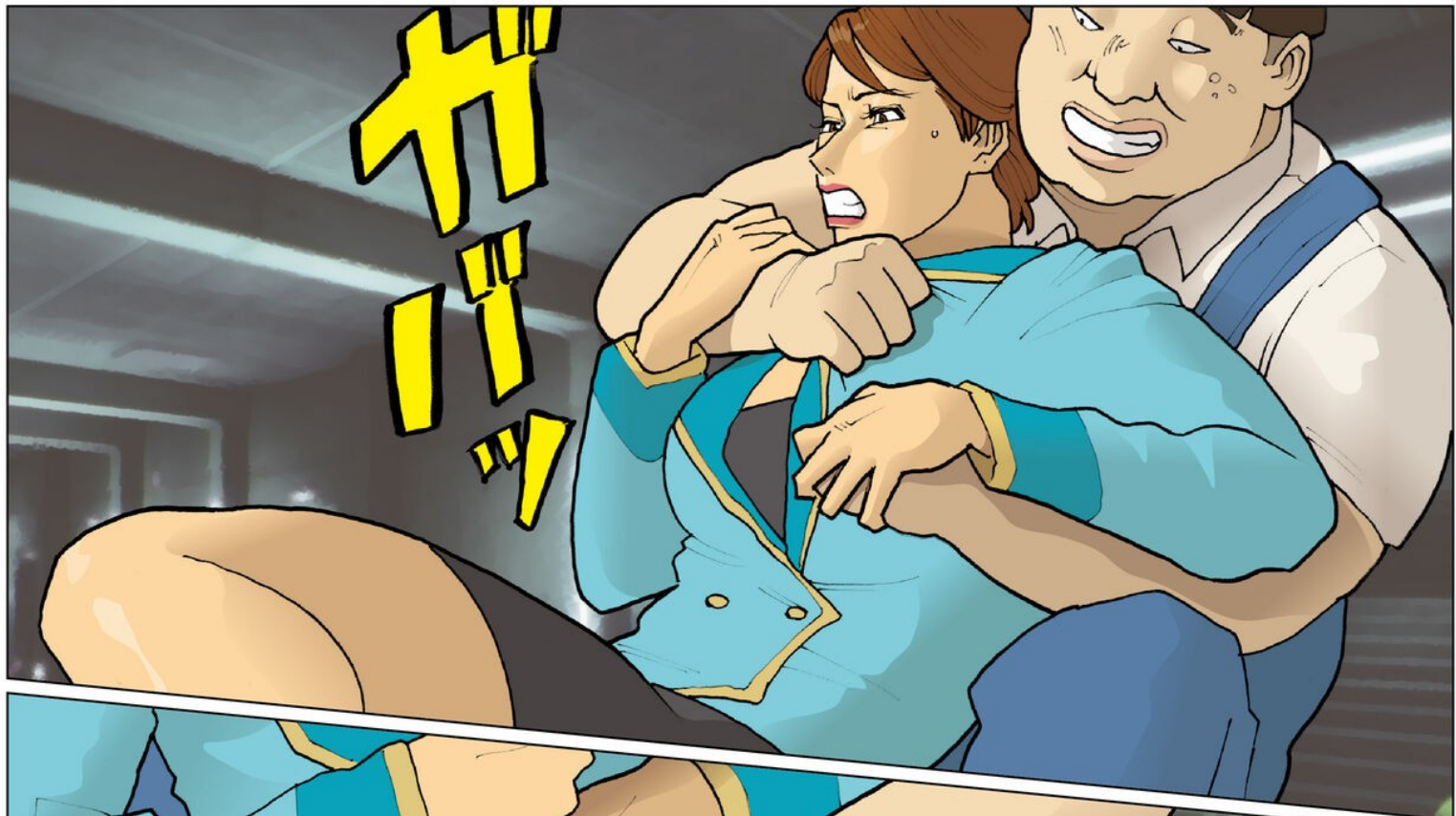


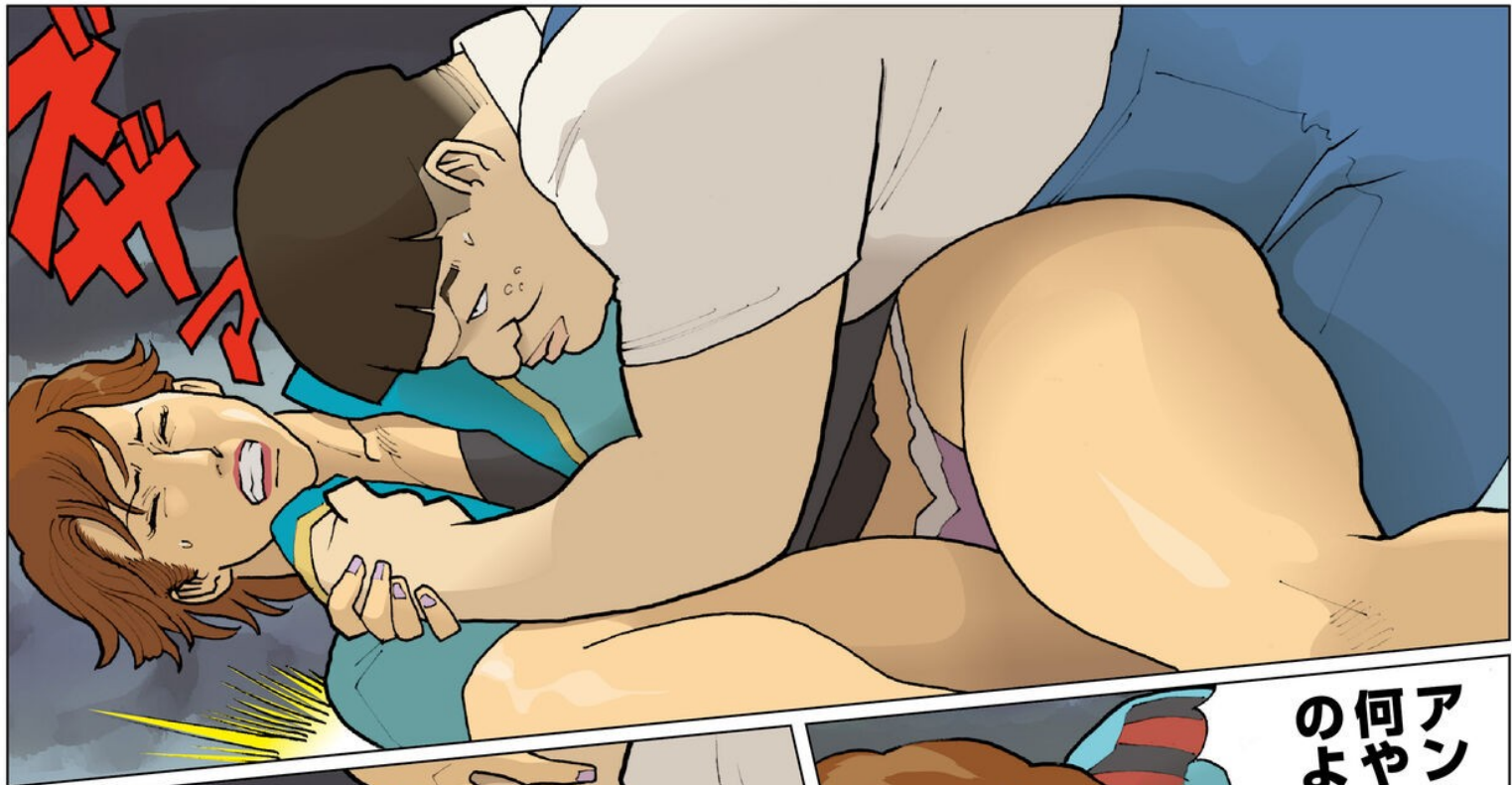
やめなさい！
こんな事…
許されない
わよッ！！



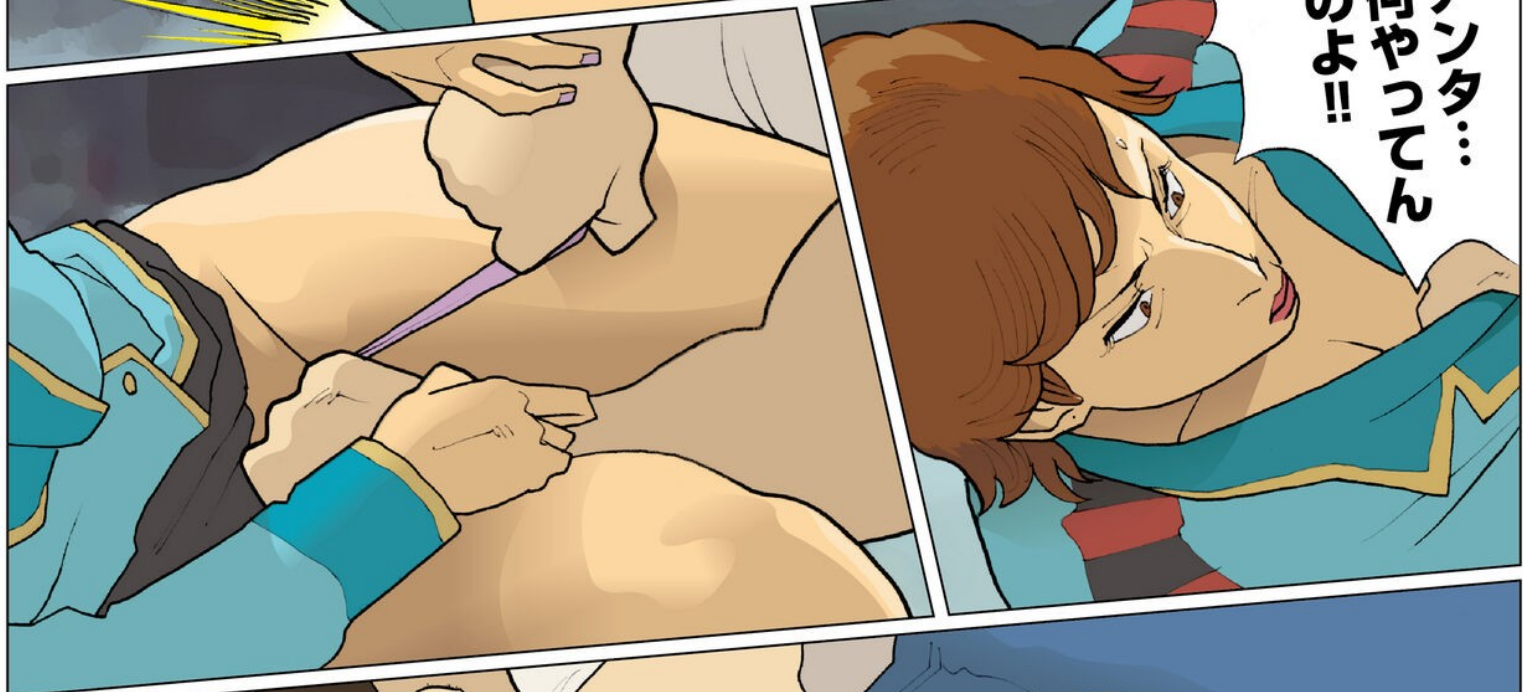
いやああっ！！
気持ち悪い
のよアンタ…



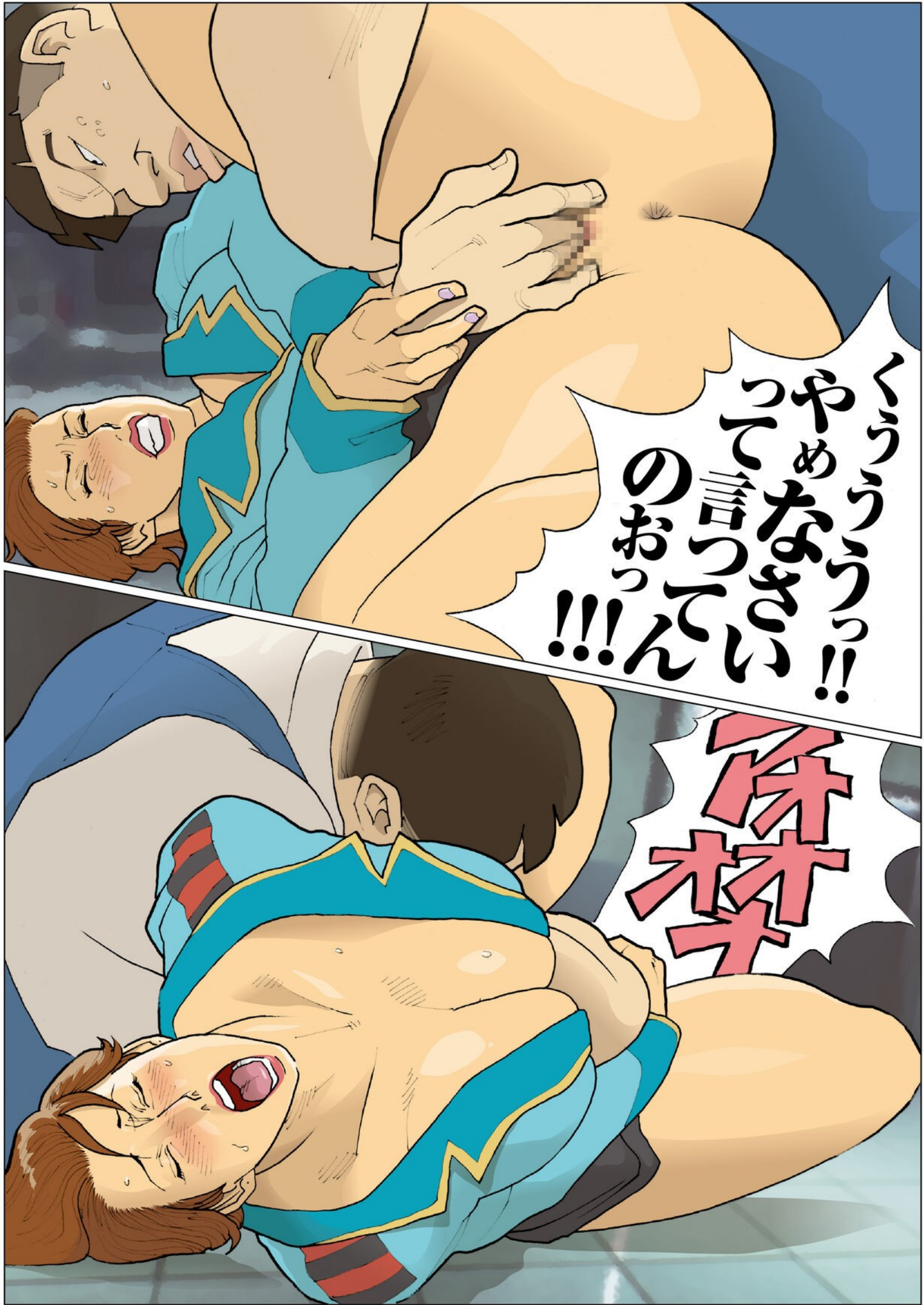




アンタ…
何やってん
のよ!!

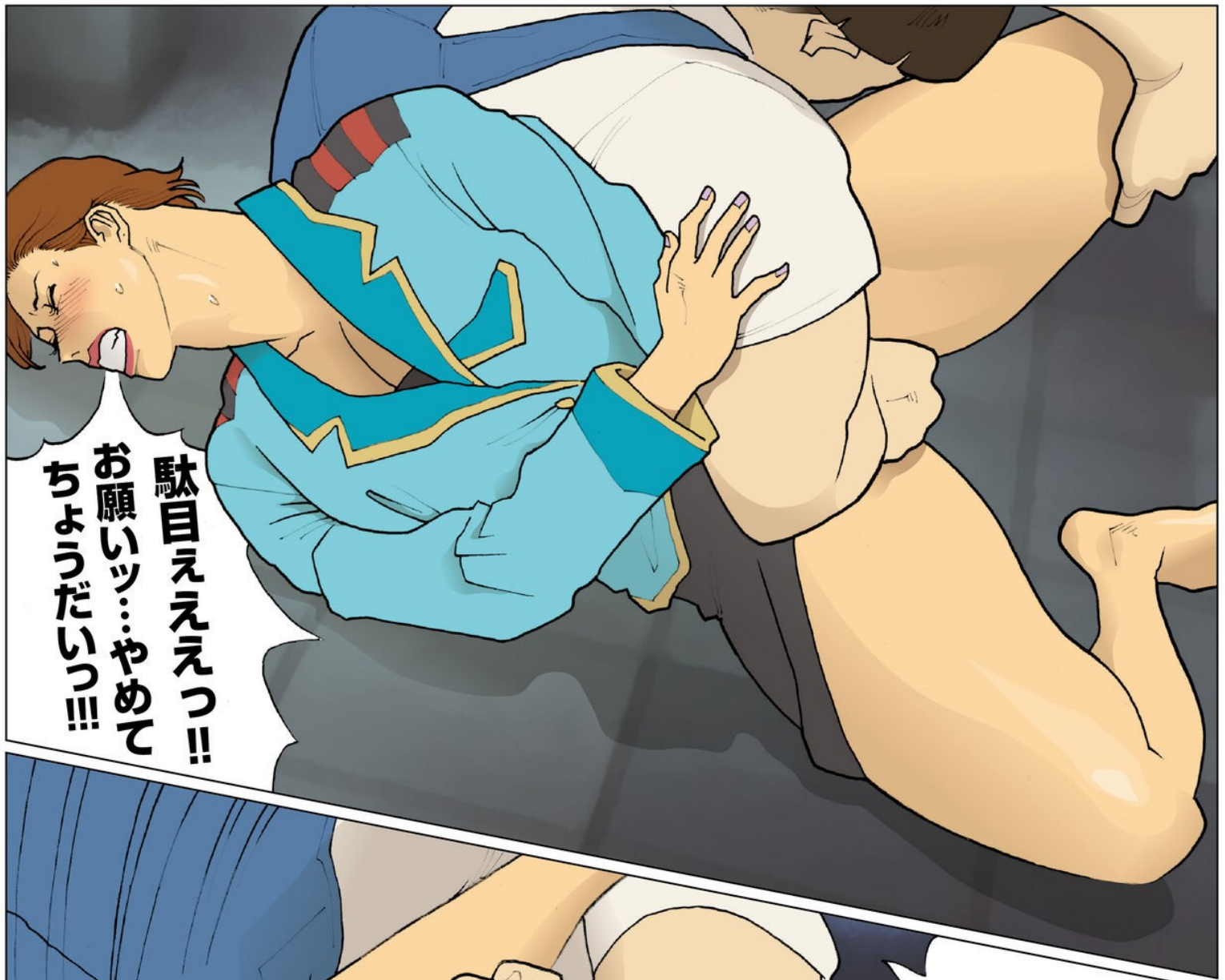


あああ…
返しなさい!!!

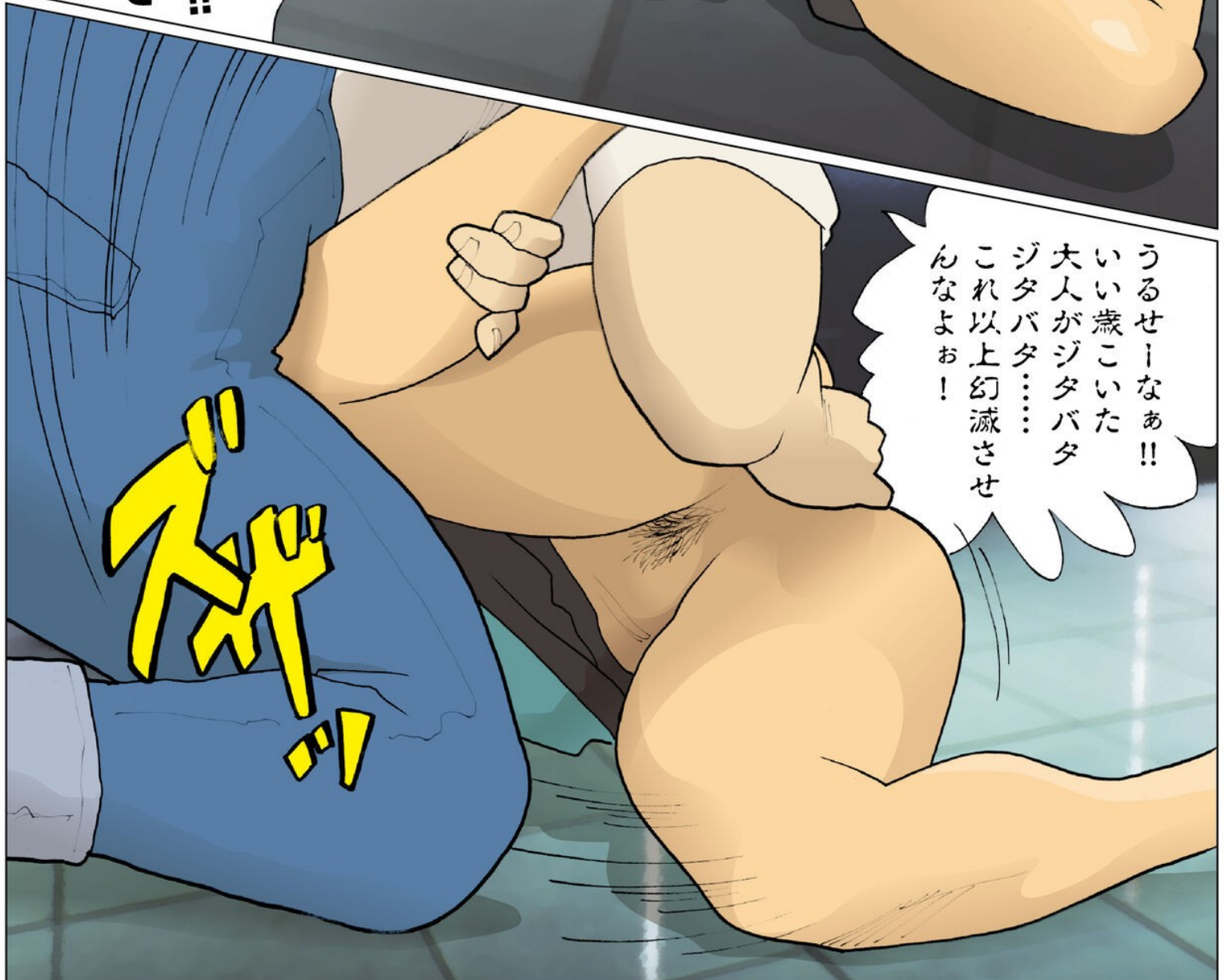


くううううう!!
やめなさい!!
つて言うていい
のおっん!!!

オオオオ

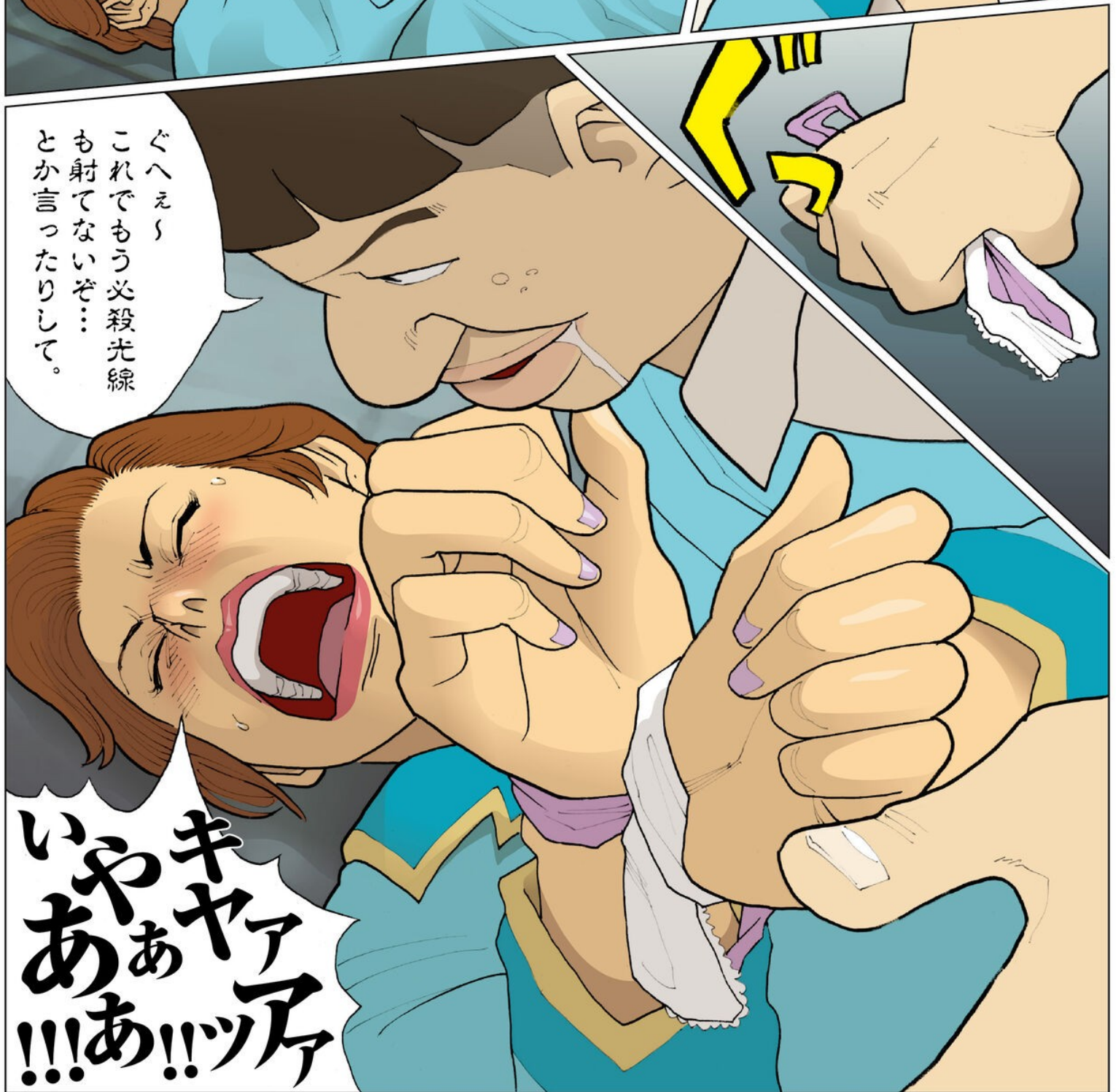


駄目えええっ!!
お願いッ…やめて
ちょうだいっ!!!



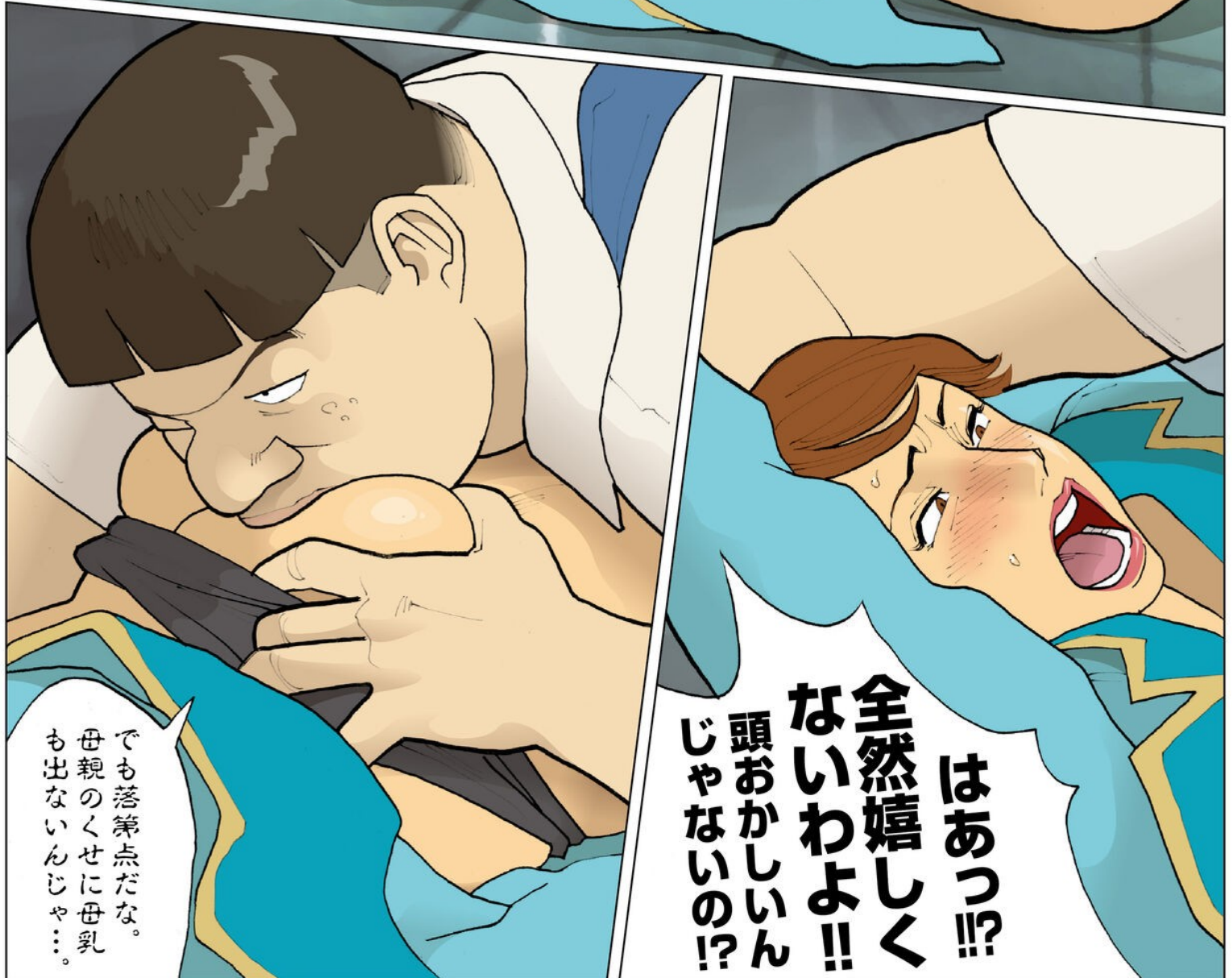
うるせーなあ!!
いい歳こいた
大人がジタバタ
ジタバタ……
これ以上幻滅させ
んなよお!

ズグ



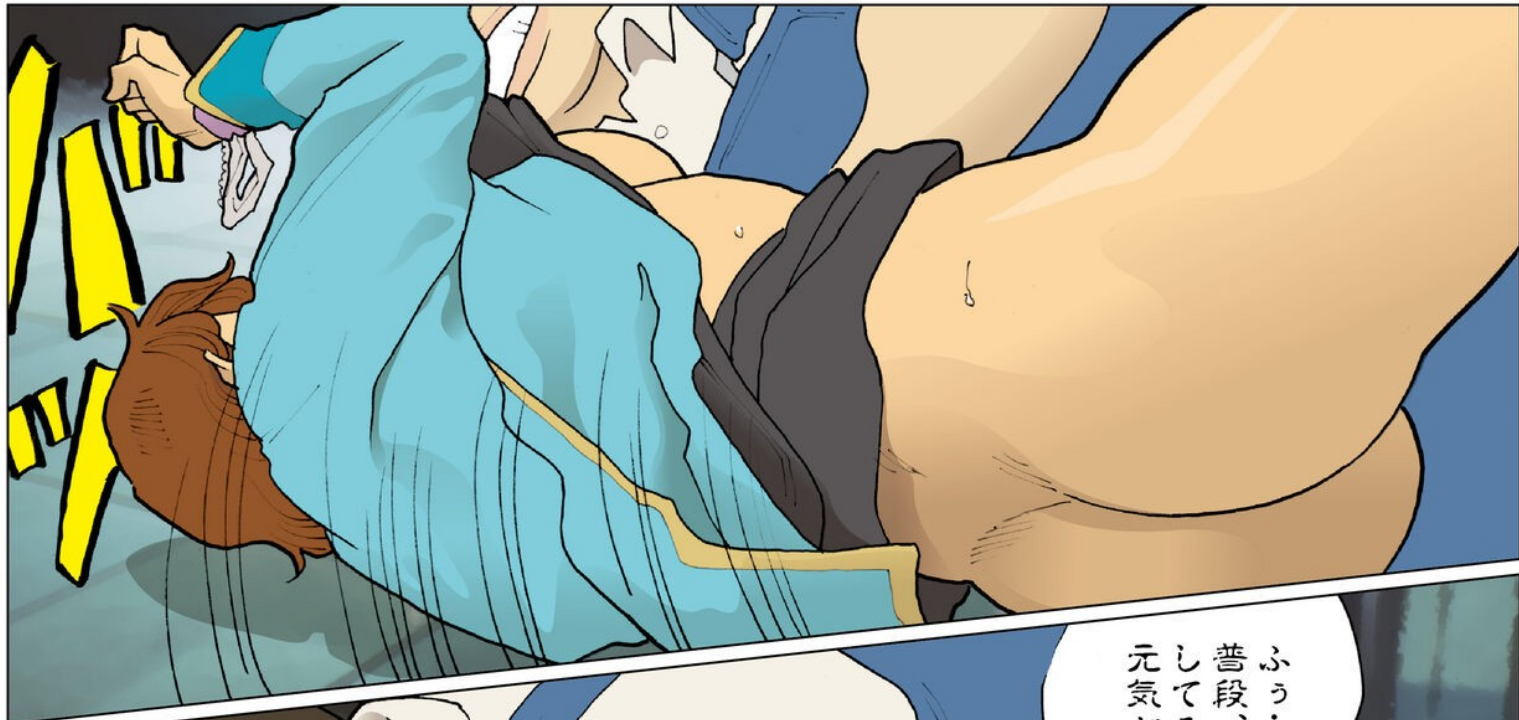


ふむふむ…
コイツは中々
歳の割には張り
があるなあ。



はあっ!!?
全然嬉しく
ないわよ!!
頭おかしいん
じゃないの!?

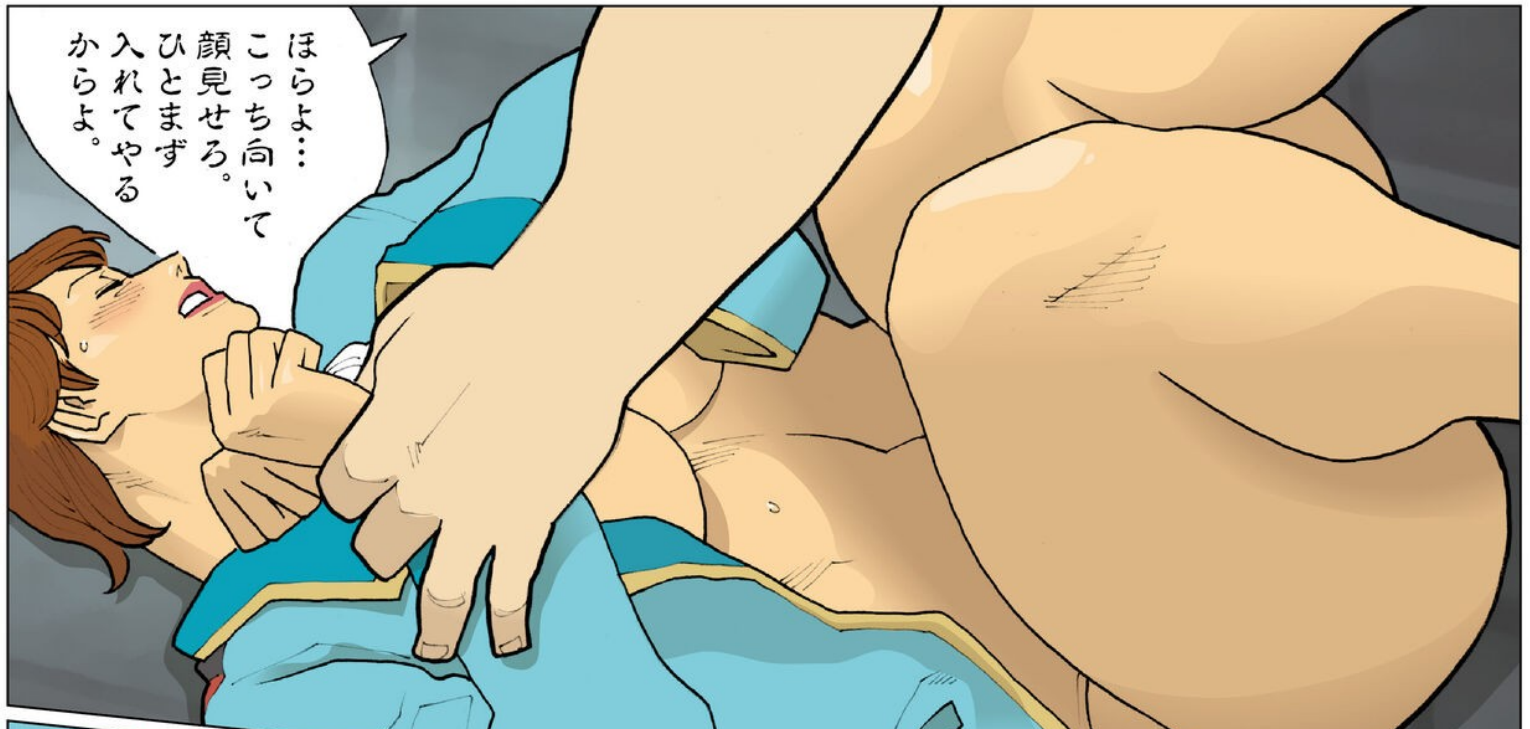
でも落第点だな。
母親のくせに母乳
も出ないんじゃ…。



ふう……
普段、怪獣を相手に
してるだけあって、
元気がいいなあ。



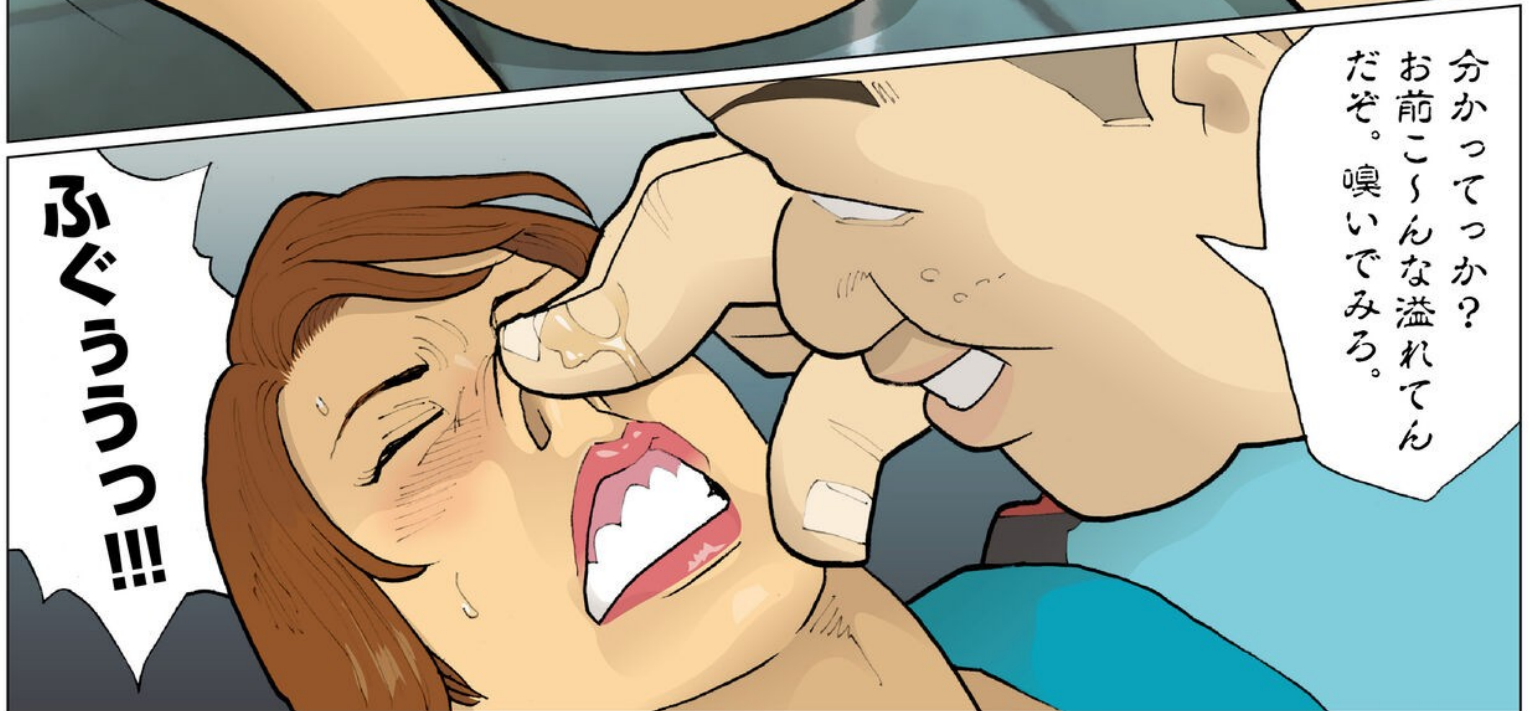
ちょっと……
おでも服邪魔だな。
大人しくしとけよお
おばさん。



ほらよ…
こっち向いて
顔見せろ。
ひとまず
入れてやる
からよ。

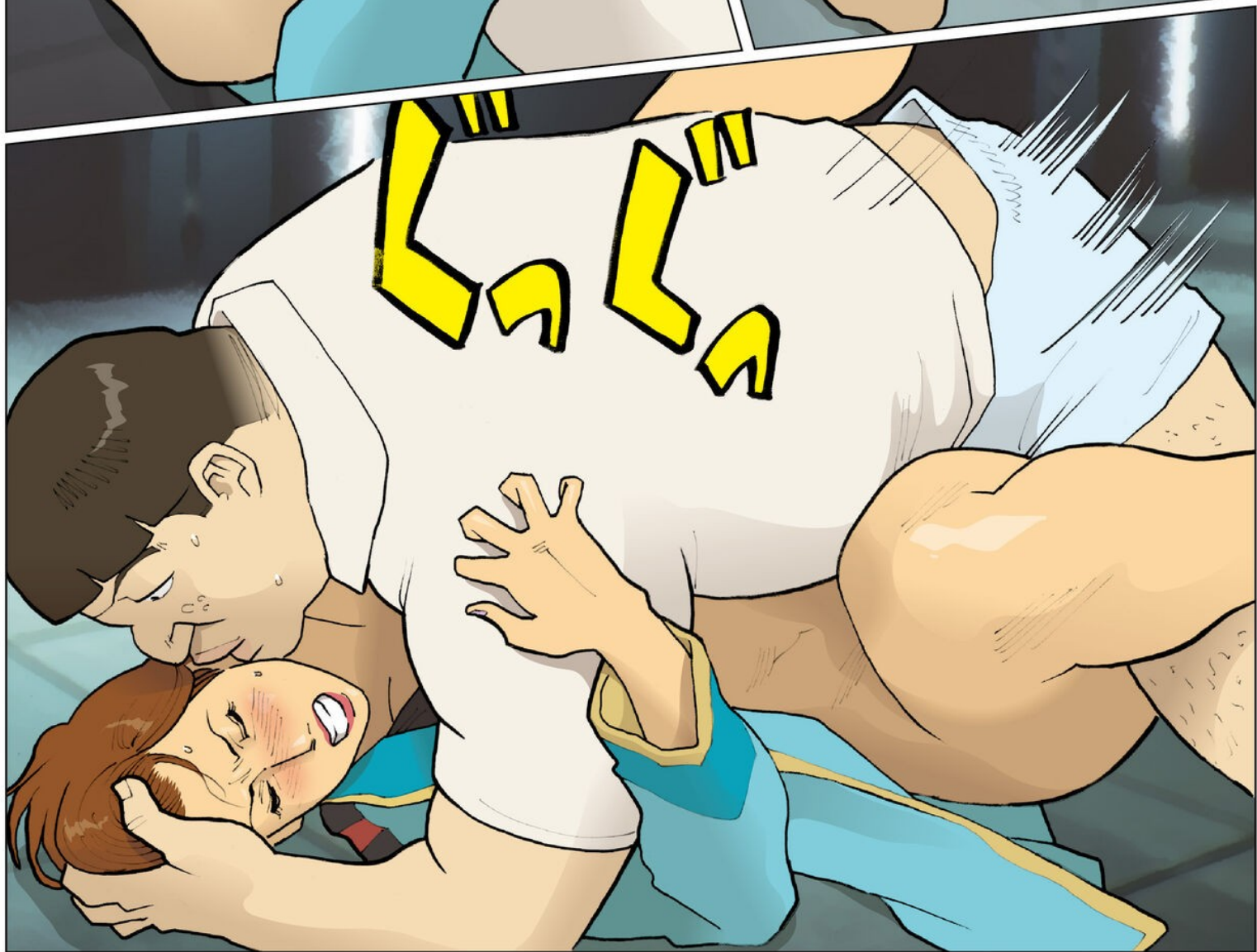
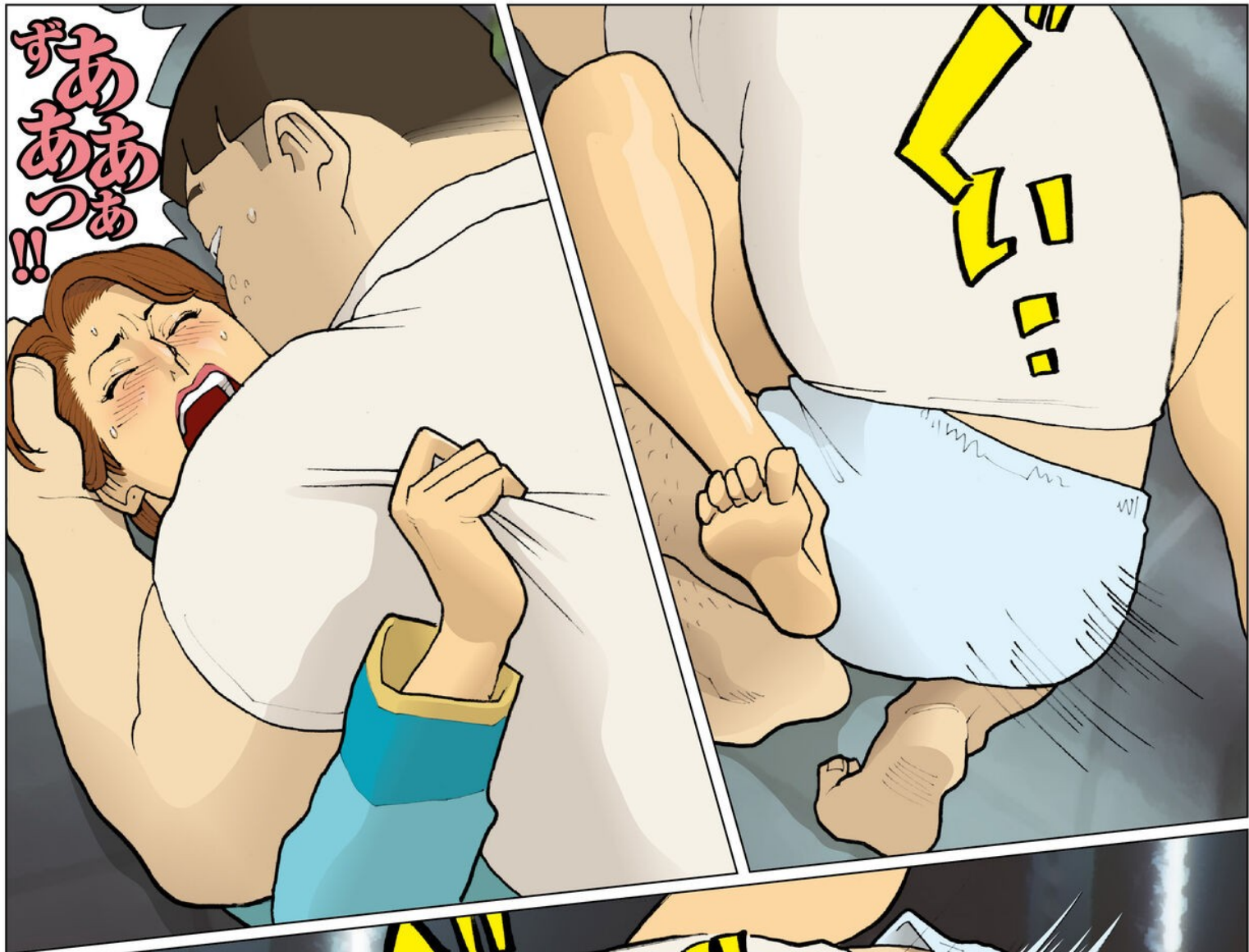


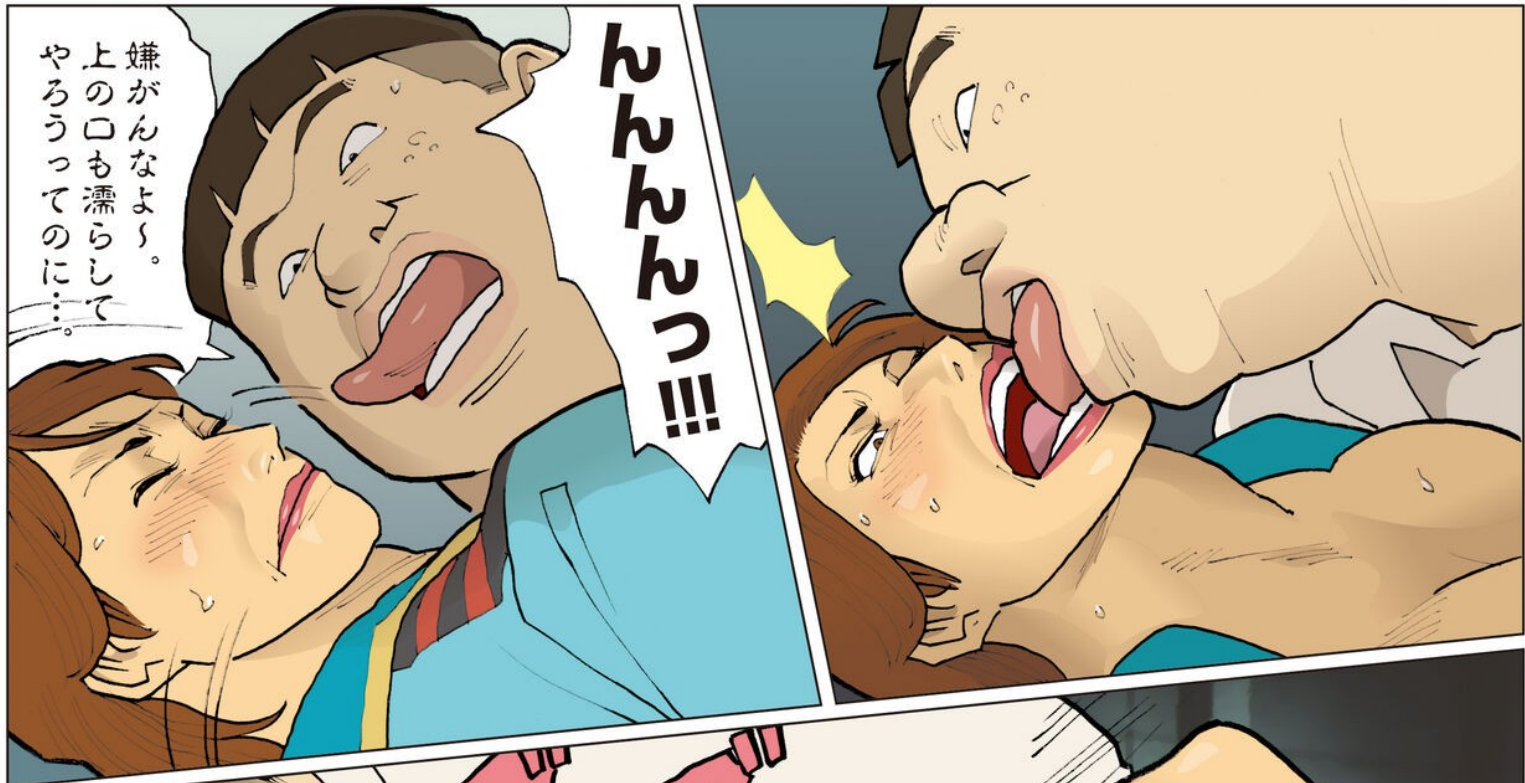
グ
イ
ッ



分かってっか？
お前こゝんな溢れてん
だぞ。嗅いでみる。

ふ
ぐ
う
う
う
ッ
!!!



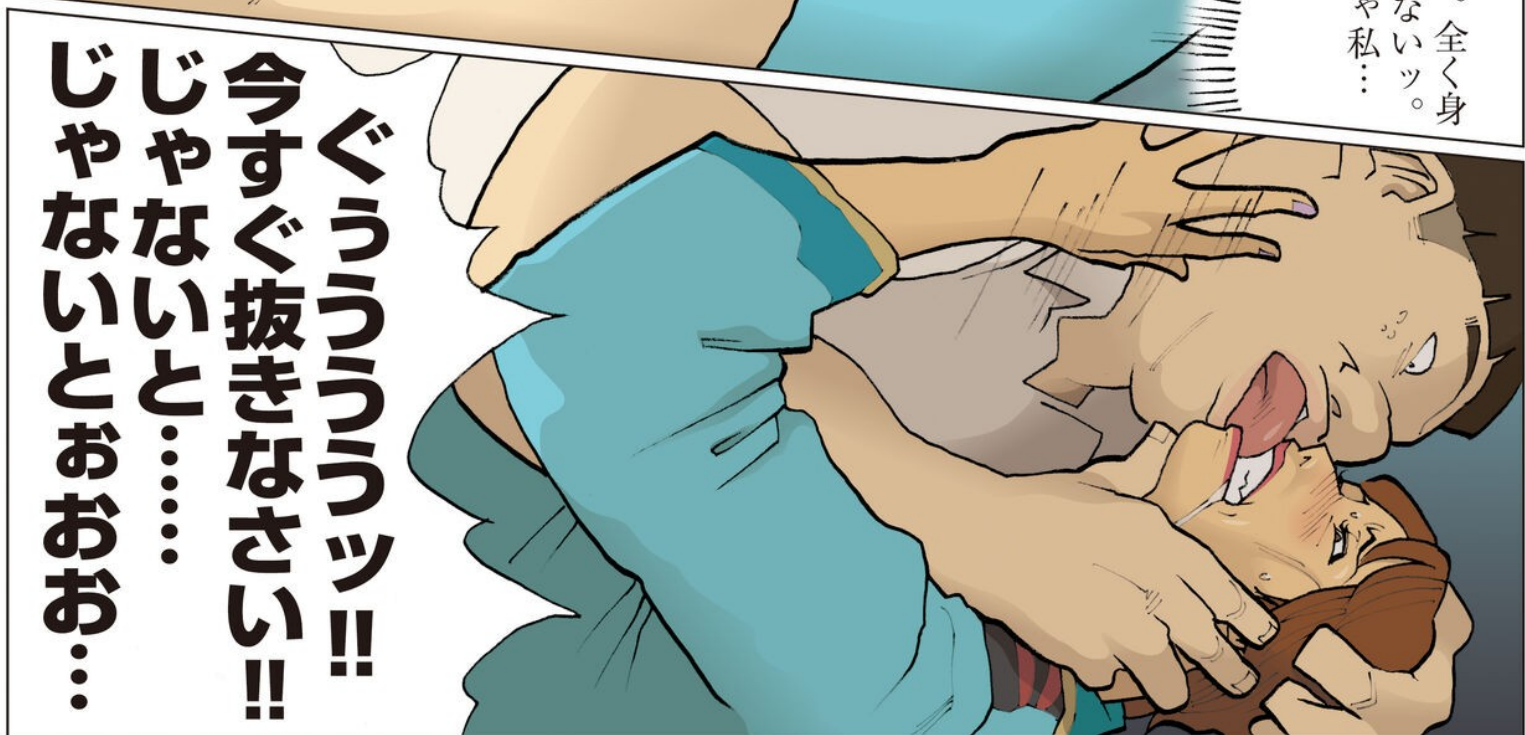


んんんっ!!!

嫌がんなよ。
上の口も濡らして
やろうってのに…



何て力なの。全く身
動きが出来ないッ。
このままじゃ私…
……



ぐうぐうぐうッ!!
今すぐ抜きなさい!!
じゃないと……
じゃないとおおお…



おいおい…
意識しっかりしとけよ。
地球を守る組織の長だろ？



痛ああッ!!



**グウッ…
あああ
ああッ!!**

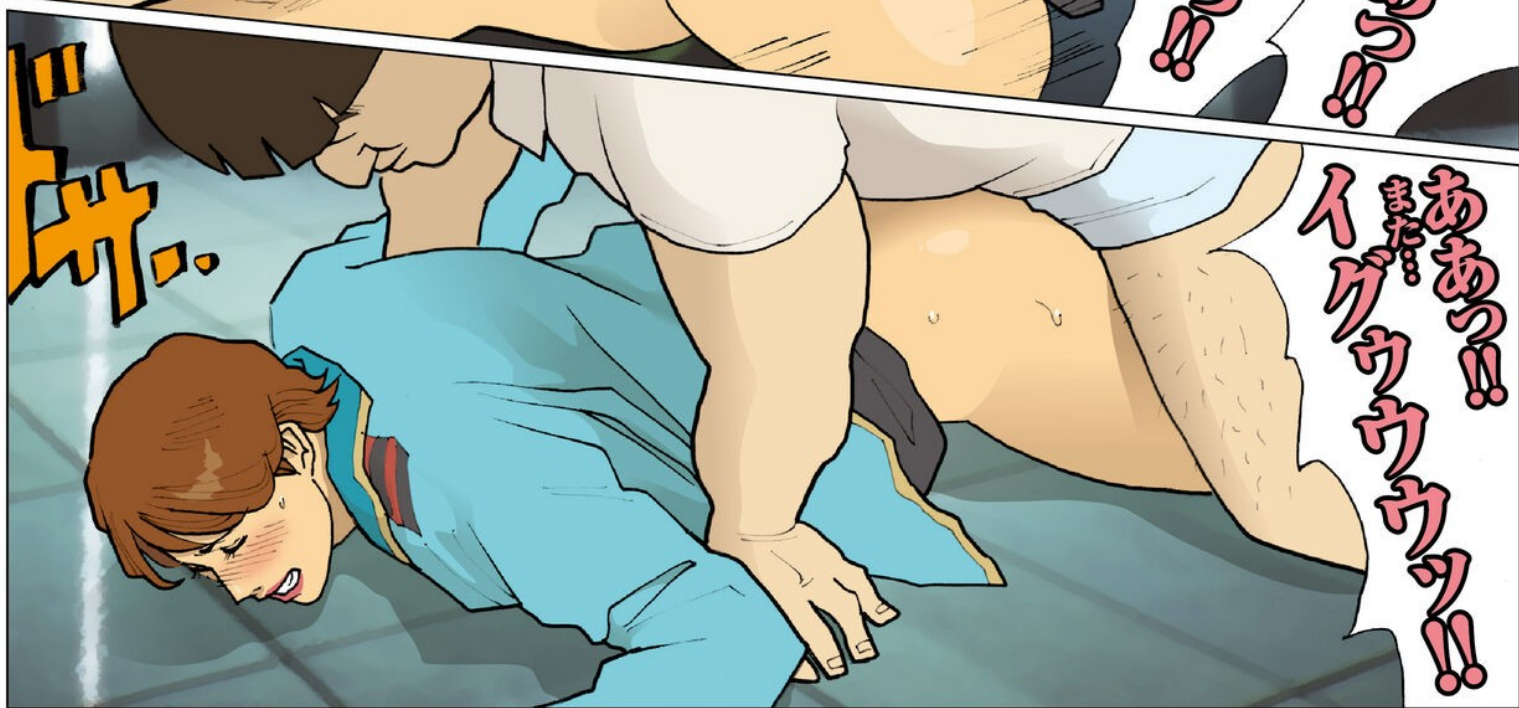
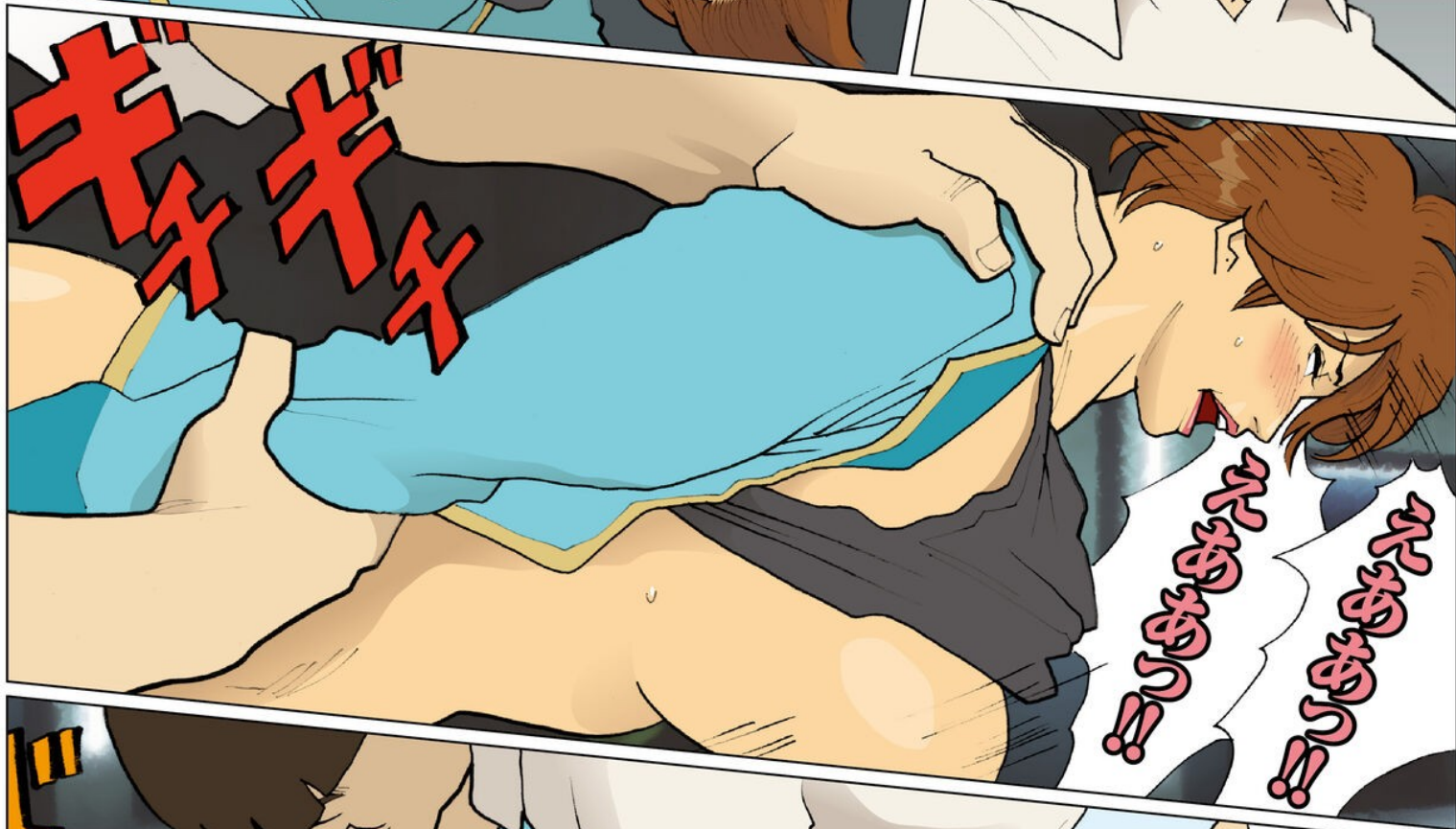
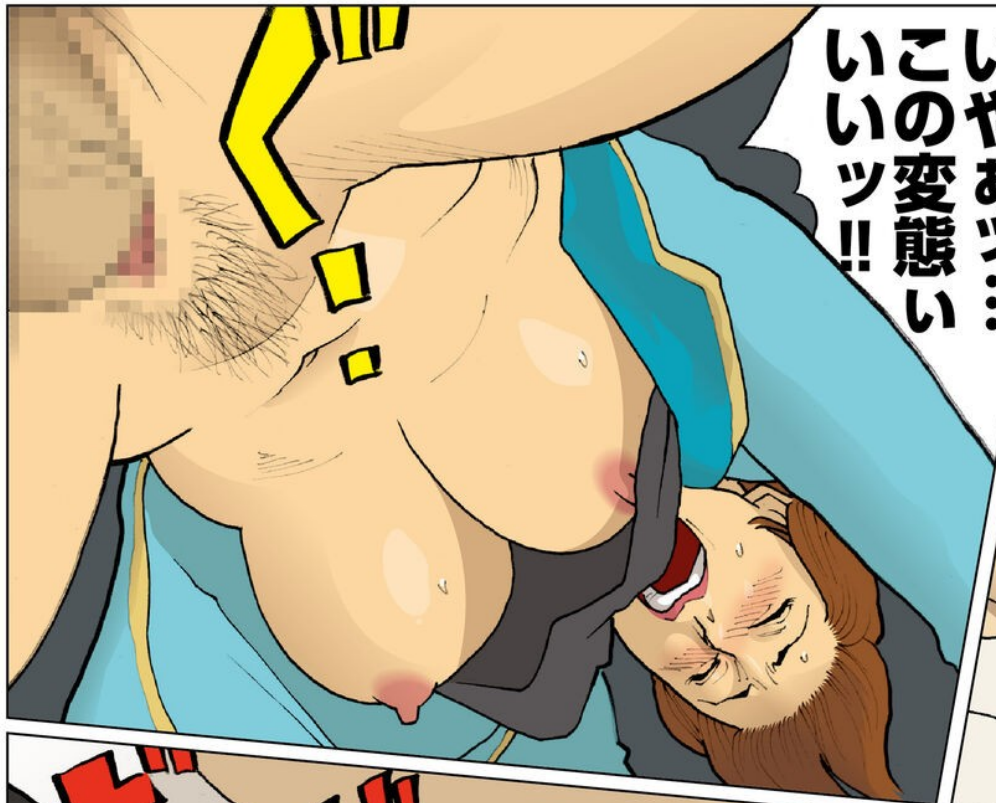


**ひいいいッ
何をッ…
の!!**

うん…
個人的にはもう少し
臭う方が好みだけど…

うへへ…でもまあ
銀の巨女神の尻穴の臭い
は覚えたぞお。

いやあツ…
この変態い
いいッ!!



ああッ!!
また!!
イグウウウツ!!

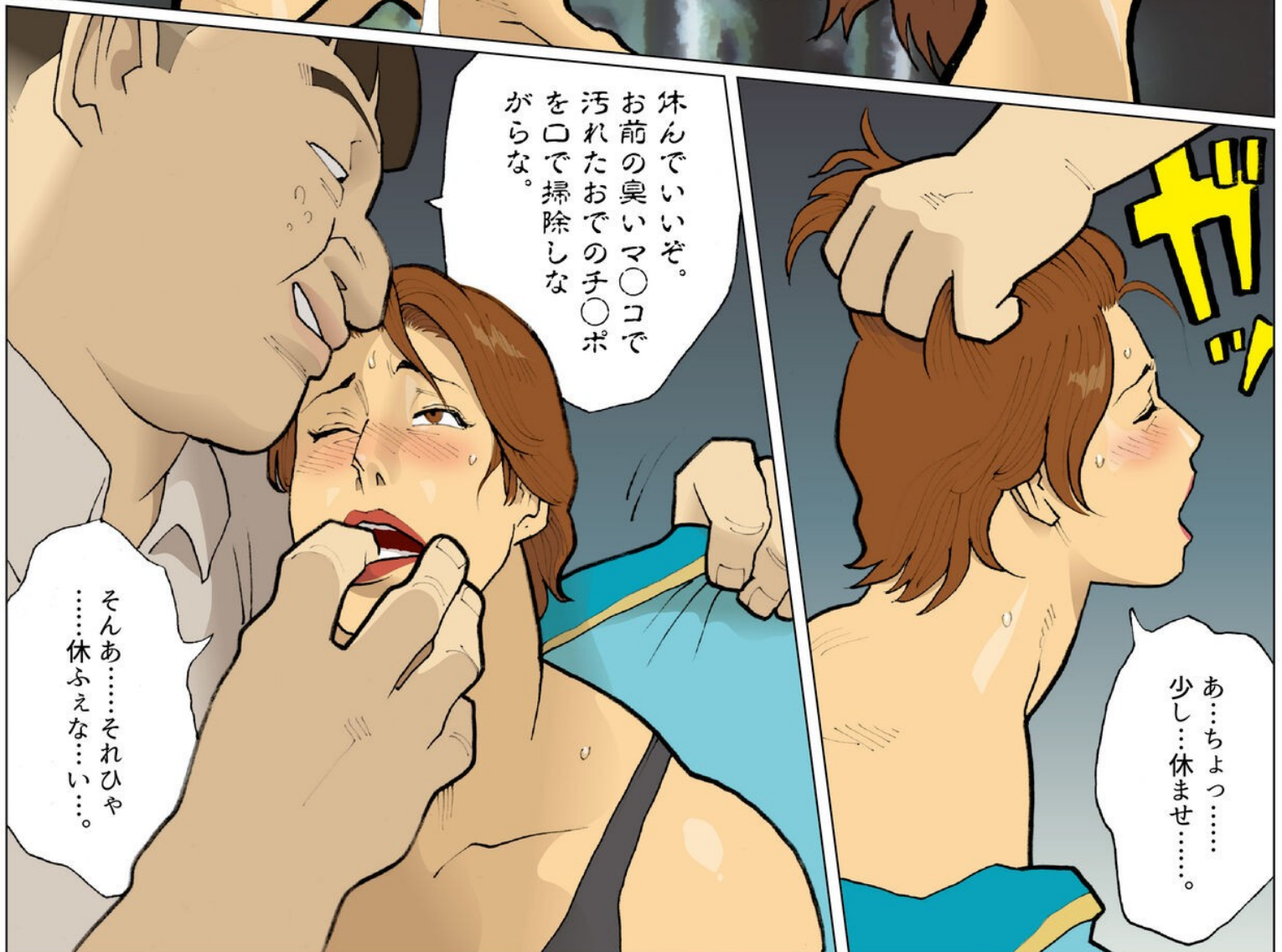
すげーなあ…。
ついさっきまで取っ組み合っ
た兄ちゃんの下で、もう
屈服すんのかよ。

うう…
違あ…

ふぐう
うッ…

自分だけヨがるなよ。
おで達を楽しませるのも
大人の役目だろお？

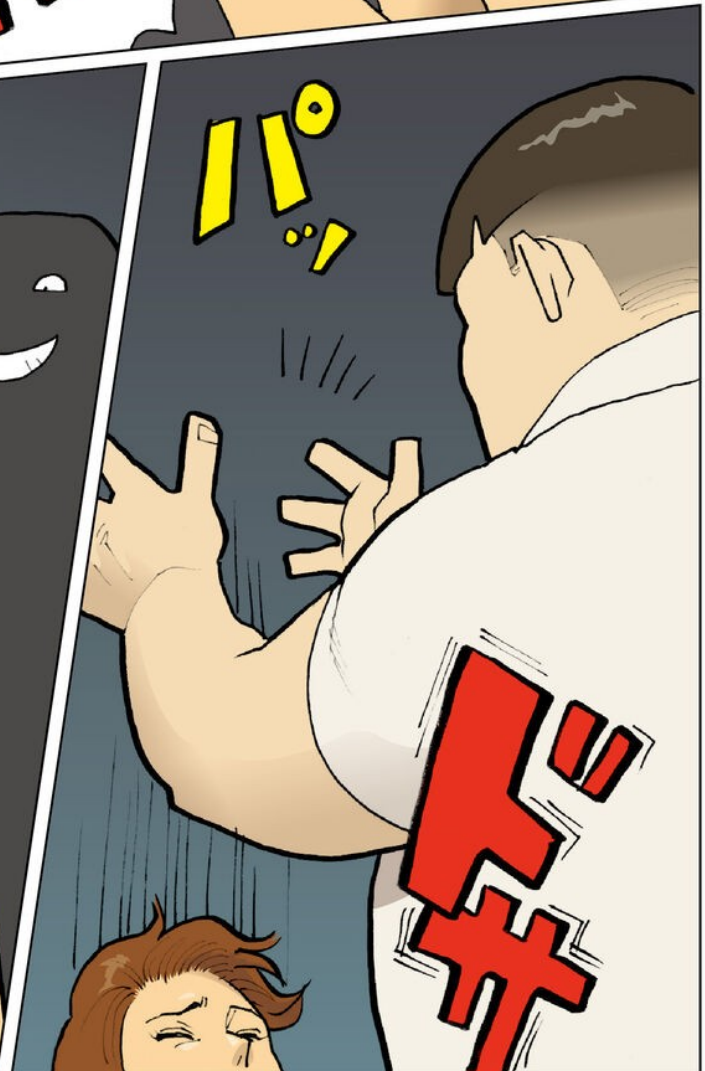
いぎや
あッ!!!



休んでいいぞ。
お前の臭いマ○コで
汚れたおでのチ○ポ
を口で掃除しな
がらな。

そんな……それひや
……休ふえな……い……

あ……ちよつ……
少し……休ませ……。





ボケろっと
すんな。そっちから
ムシヤぶりついて
来いよお。



ううっ……
ごめん……
……なさい。

うへえ……。
四十のババアが中○生の
チ○ポより立場が下にな
ってるよ。
さすがに引くわ……。



おはあああつ!!!

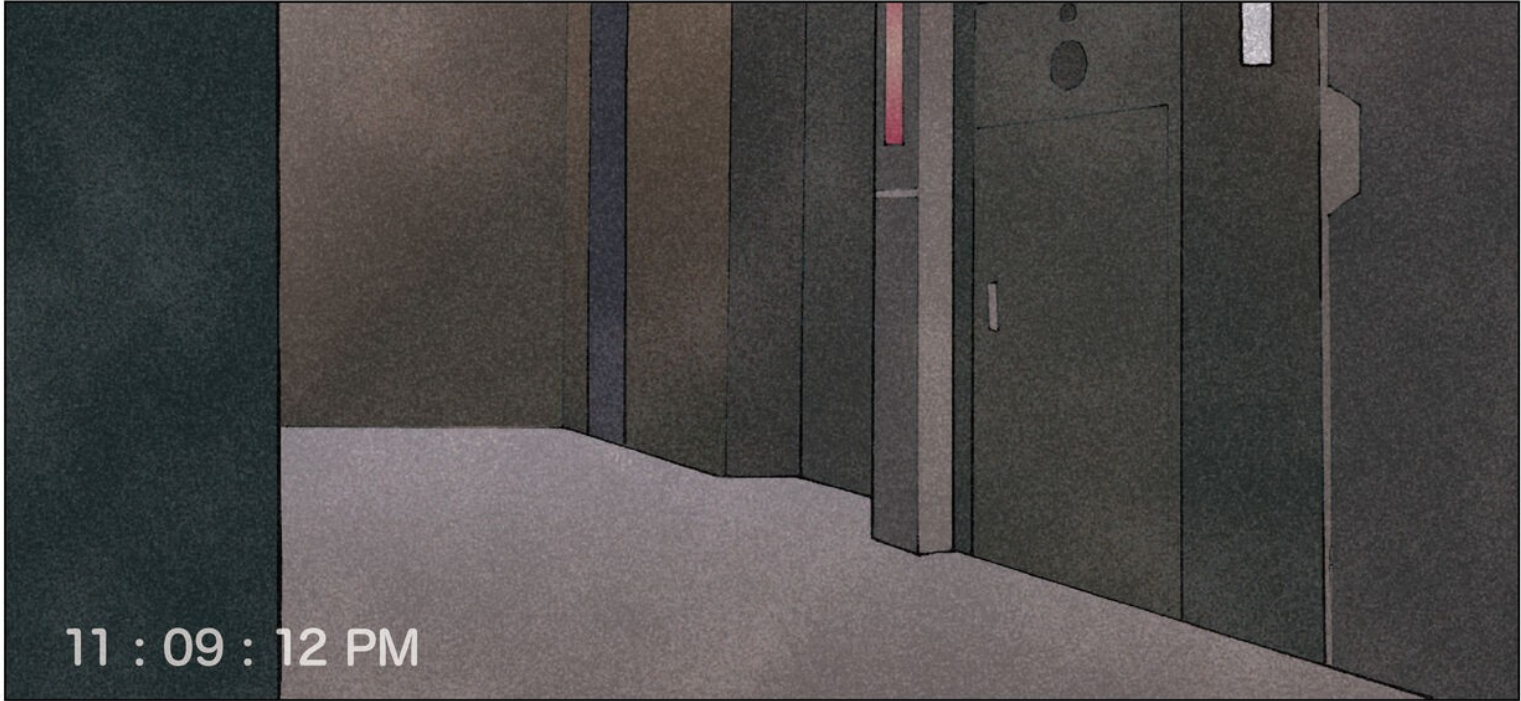


随分と大人しくなったな。
改めて自分がどれだけ
イヤらしい女か悪い出して
きたみたいだね。

ズン

その日、私は突然目の前に現れた
見ず知らずの○年に、
体の隅々まで穴という穴を
犯し尽くされました。

普段仕事場として使用する
司令室の床一面、私の体から
溢れ出たあらゆる液体が飛沫し、
その上を少○にされるがままに
私はのたうち回ったのです。



11 : 09 : 12 PM



も……もう駄目え……。
誰か……助け……。

11 : 09 : 33 PM

ちよっと目え離すとコイツは……
オナホールが逃げるな。

あああっ!! 痛あああっ!!
もう勘弁してえええええっ!!!

11 : 09 : 39 PM

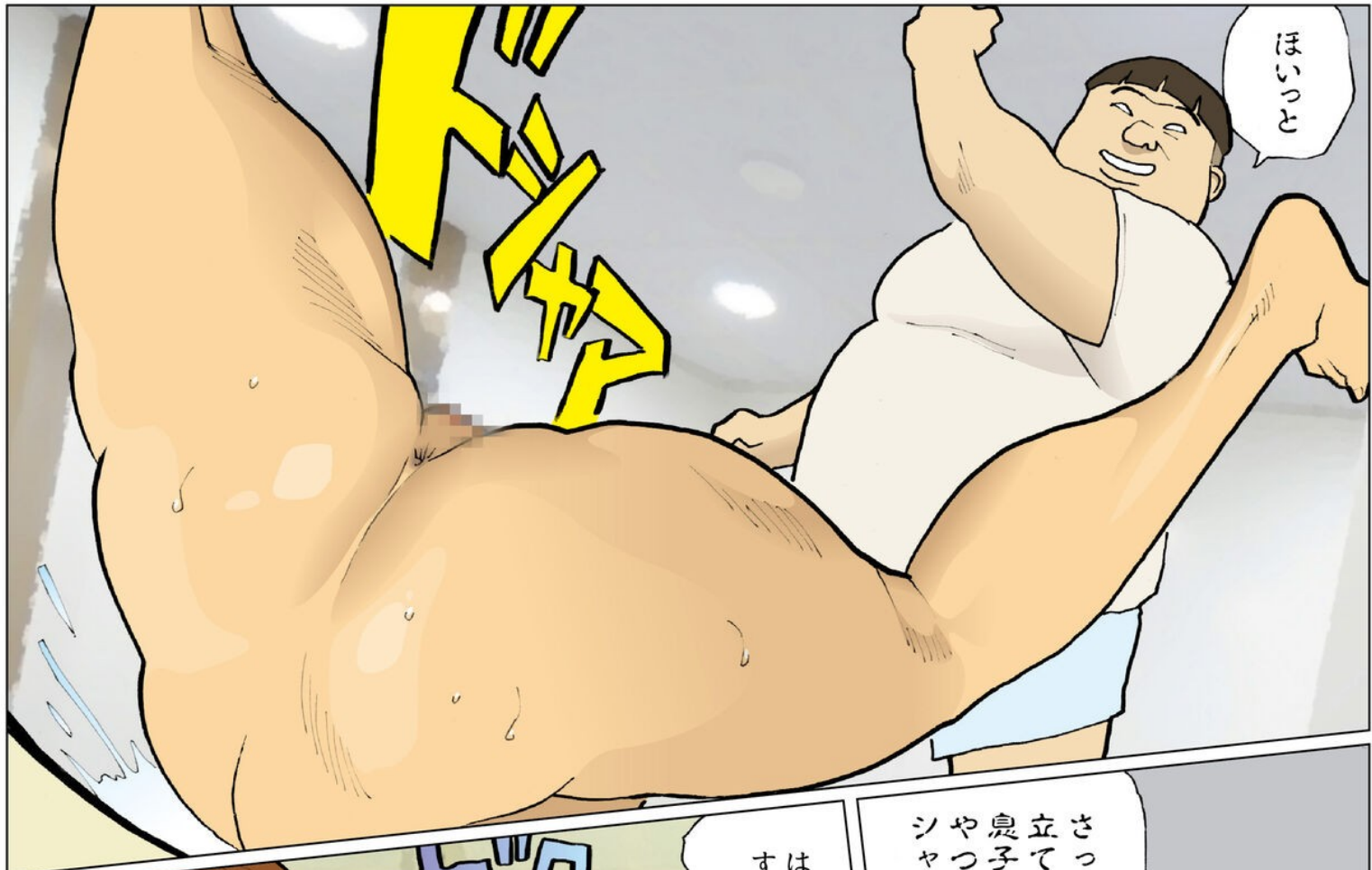
ふべえええっ!!
へほおおおおおおっ!!

11 : 15 : 25 PM

さてと…一旦シャワーでも浴びるか。

はあ……
…………えああ……。

00 : 10 : 49 AM

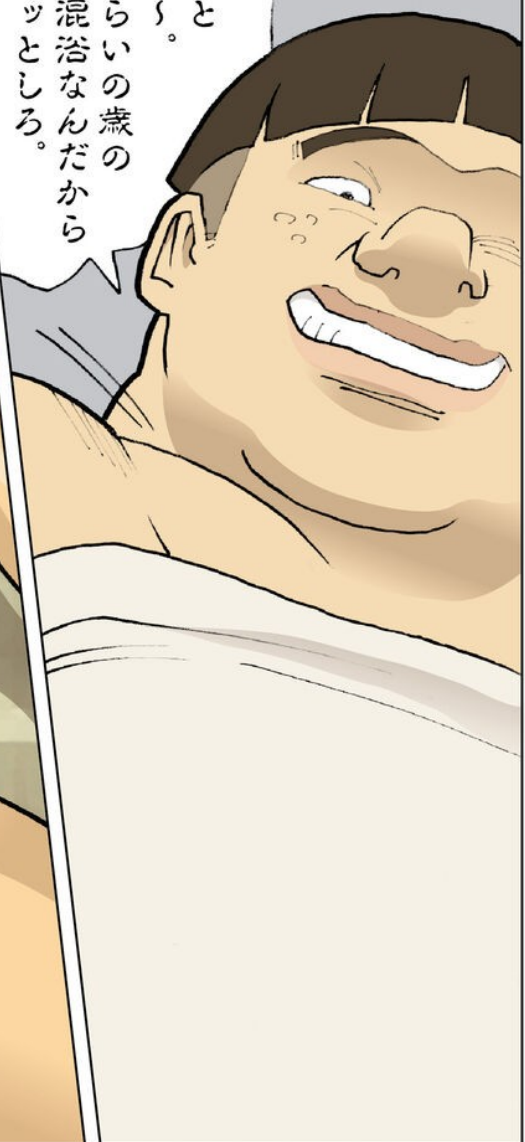


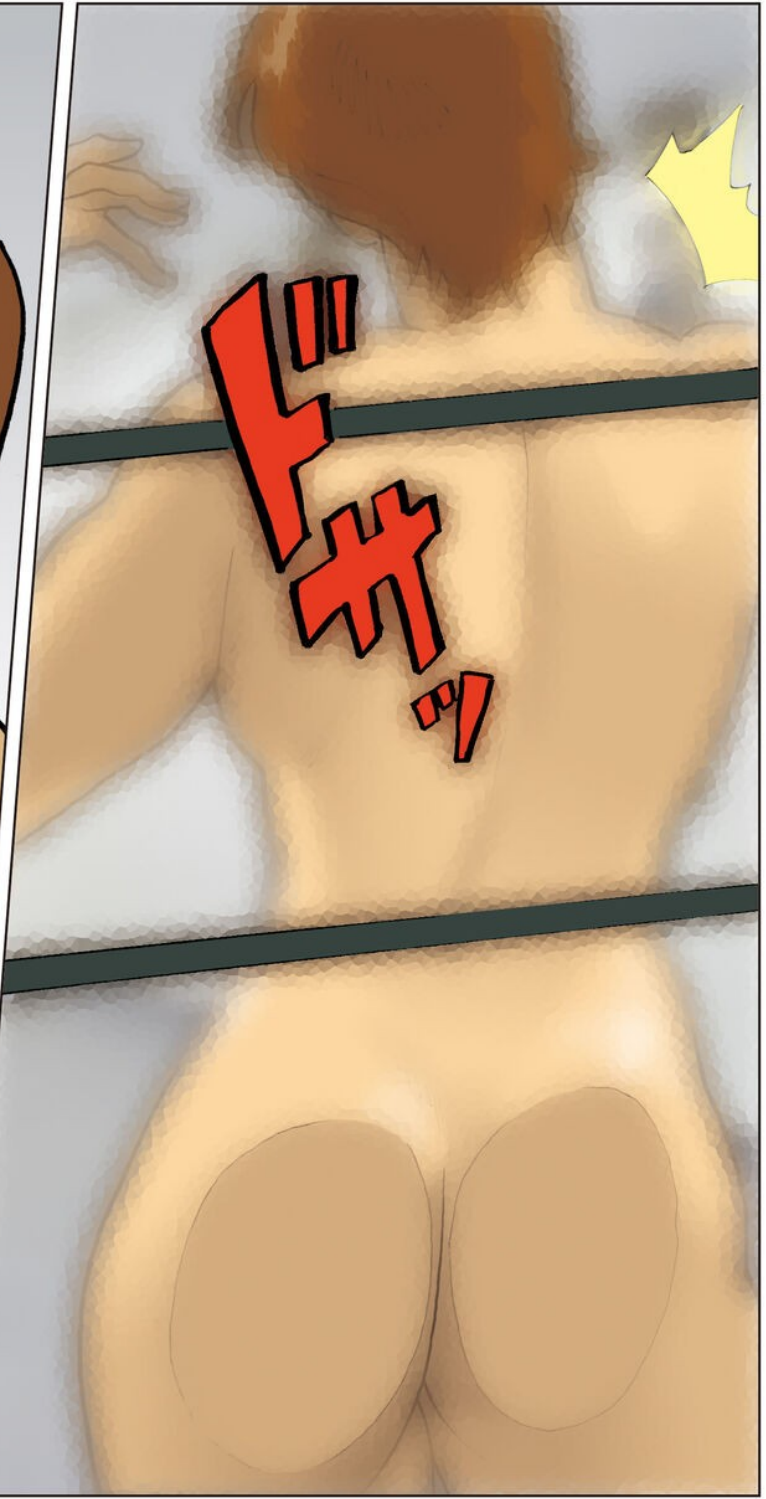
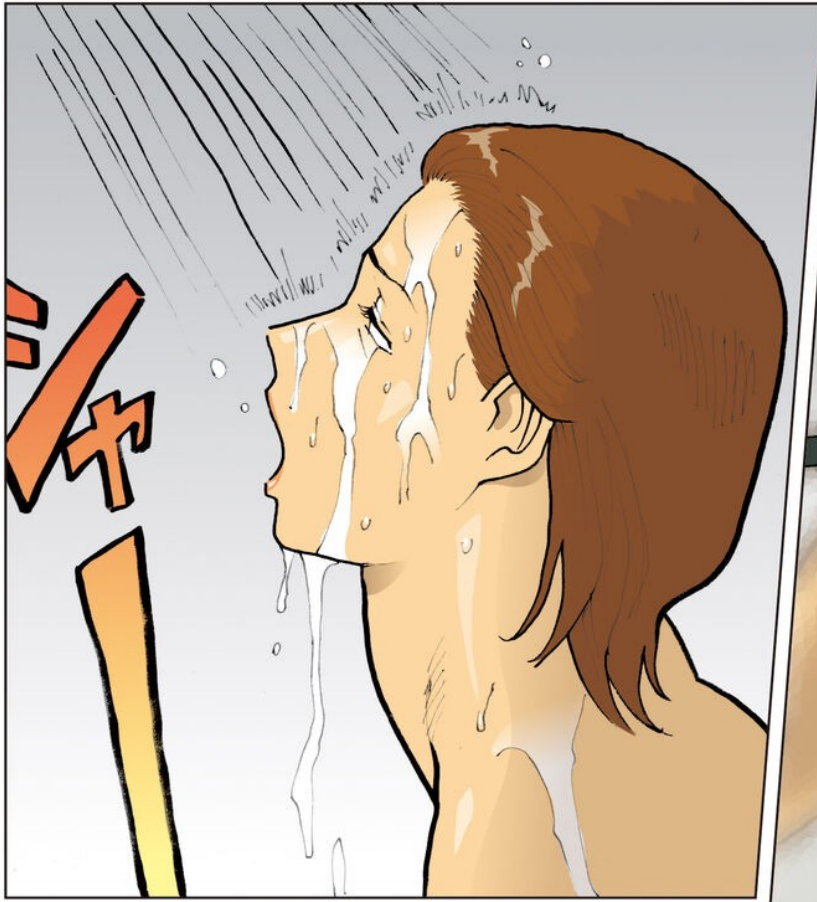
ほいっと

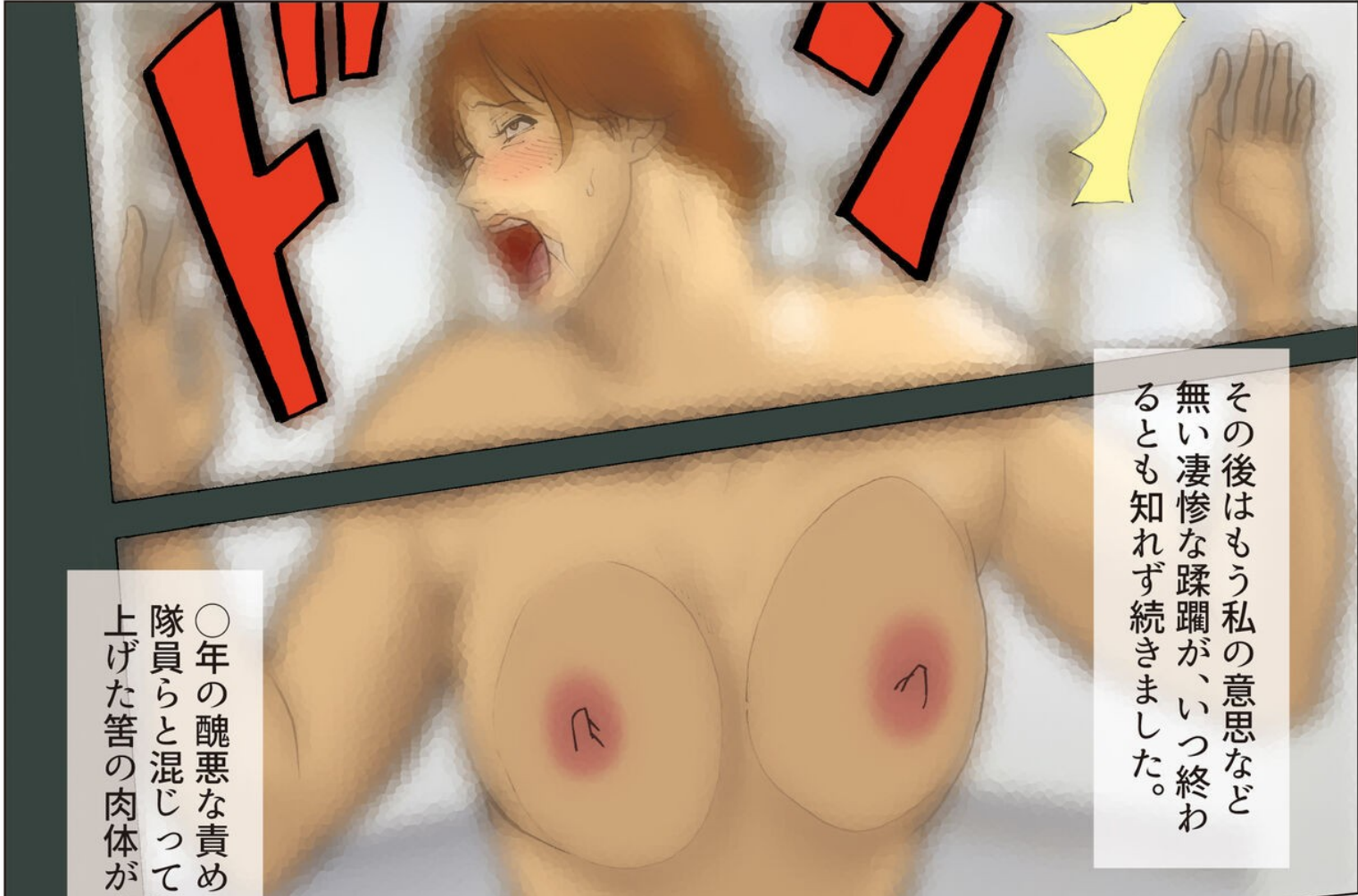


は...はひ...
すびばせん...

さっさと
立てよう。
息子ぐらいの歳の
やつと混浴なんだから
シャキツとしろ。







その後はもう私の意思など
無い凄惨な蹂躪が、いつ終わ
るとも知れず続きました。

○年の醜悪な責めの前では、普段屈強な
隊員らと混じって訓練している私の鍛え
上げた筈の肉体が意味を成さないのです。



えぐっ…
ぐむう…
くふうッ



私は自分がマゾヒズム体質なのは重々承知しています。しかし、それは自ら体を許した相手にのみと思っていました。

今にして思えば……数時間前このコの見下す視線に睨まれた時にこうなる事を望んでいたのかも知れません。



ゲヘヘヘ!!
さっきおでに蹴り入れた奴が、今はチ○ポケースだもんな〜!!!

こひゅ……
も……もっど……
喉のおぐ……まで
犯じでえ……。

ふう……
まあ中古の玩具なら
こんなもんだな。

これで地球を
守ろうってん
だからな。笑
い話だなあ。

ド
ン
ド
ン
ド
ン

あひゃ……
ずびばせん……

許じで……
ぐだ……

to be continued...